

アセンション BOOK8

天の川銀河創造の秘密 NO1

2014年1月～4月

天の川銀河創造の秘密 1 グレート・マザーの目覚め



(C)Hiroyuki Sato

グレート・マザー 目次

- 第1章 イエスの故郷アールスター星の復活
- 第2章 生命が生まれる星のクリスタル
- 第3章 グレート・マザーへの道
- 第4章 グレート・マザーの目覚め
- 第5章 グレート・マザーからのメッセージ
- 第6章 グレート・マザーの光をつなぐ
- 第7章 創造の世界とグレート・スター様
- 第8章 美しく生まれ変わった創造の世界
- 第9章 星を生み出す世界の仕組み
- 資料 宇宙の創造主の段階

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック

<https://www.k-suai.com/sp/index.html>

宇宙の光公式 HP

<http://hikari1.com/sp/index.html>

アセンション評議会

<http://s-sun1.com/sp/index.html>

アメブロ光の世界へ

<http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI yume34@k-suai.com

イラスト えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 イエスの故郷アール

スター星の復活

PART1 イエス様、アールスター様との出会い

アールスター星・・・その星の名前を知る人はこの地球にはほとんどいないと思います。もちろん天文学的に実証されている星ではありません。

しかし、この星はアンドロメダ銀河の中にあり、この大宇宙でも有数の叡智を誇る人々が、宇宙の進化のために働いてきた星なのです。

アールスター星との出会いは、イエス・キリストとのコンタクトから始まりました。もちろんイエス・キリストは、皆さんもよくご存じのキリストですが、彼は「サナンダ」という名前でレムリア時代からこの地球を見守ってきた偉大なるマスターの一人です。

地球に降りたったイエス・キリストは、もともと地球の人ではありませんでした。彼は、この地球のような精神的な成長がまだ十分ではない星に降り立ち、その星の人々に、神の存在をととき、愛の大切さを訴えかけてきました。それはこの地球の人々の精神的進化をいざない、この地球を素晴らしい星にするために行われた事でした。

彼はイエスキリストとなる前は、サナンダとしてレムリアやアトランティスの時代にも、この地上に降り立ち、地球の人類の成長のために貢献してきました。

なぜなら、彼が生まれたアールスター星は、非常に叡智が高い人々の集まりで、成長過程にある星の人々のもとに降り立ち、その星の意識の成長を助ける事が、彼らの仕事だったからです。

現在、イエス・キリストは、創造主のファミリーの一人として活動しています。

彼は、この天の川銀河だけでなくいくつかの銀河を担当し、その銀河に属する人々の意識の成長を助けてきました。

そして、イエス・キリストの仲間が、私が「アールスター様」と呼んでいる創造主です。彼が最初に私達のメンバーのもとに現れた時に、アニメの機動戦士ガンダムに登場するシャアにそっくりの姿で現れて、私達を驚かせたものでした。

通常、私達の前に現れる創造主のファミリーやマスターは神や女神のイメージを持って現れるのですが、彼はまさに宇宙艦隊の司令官のようないで達でした。

私達は、不思議に思いしばらくは、相手にしなかったのですが、イエス様の語る言葉によって状況が変わってきました。

イエス様は、銀河系を守る中創造主の一人として、私達の前に現れました。

しかも、同じ銀河系を統治するアデティーヤ様、仏陀様、アリターリア様の3人の創造主のさらに上位の創造主にあたる方で、多くの星の次元上昇の時には、その偉大な光で私達をサポートしてくれます。

そのイエス様から、ある時、自分が生まれたアールスター星に来てアールスター星を助けてほしいというお願いをされました。

私達は、その当時、天の川銀河の星々の中で、闇に墮ちているマスター達を助け、星々の次元上昇を行っていました。

イエス様は、その活動を見守り、私達の事をサポートしてくれていたのです。

私は、大変な驚きをもって、イエス様の話を聞きました。

その話というのは、イエス様とアールスター様が中心となって活動するアールスター星は、この大宇宙の星々の精神的進化や次元上昇のために、アールスター連合を作り、多くの叡智ある星々と共に活動していたのです。同じ中創造主として活動するアリアドーネ様の星もその一つでした。

ところが、イエス様やアールスター様が他の星々に出かけている間に、イエス様達の代わりにアールスター星を守っていた司令官が、クラシャー連合の心理攻撃を受け、自分自身がアールスター星を独占したいという傲慢さと自己中心的な感情によって闇に墮ちてしまったのです。

そしてアールスター星は大きく次元降下してしまい、イエス様もアールスター様も2度と自分の星に入る事ができなくなり、それ以来宇宙船に乗ってこの宇宙を旅し続けているそうです。

彼らは、人間と違って、自分の波動と大きく異なる次元には入る事ができないので、次元降下してしまった自分達の星を、自分達の力で助け出す事ができないのです。

それ故に、次元を自由に移動して、次元降下した星を次元上昇させる能力を身につけた私達に、救援をお願いしてきたのです。

イエス様はこの地球から、きっと自分達の星を救ってくれる人物が出る事を何万年もの間待ち望み、そのような人物が生まれるために、この地球人達の意識を育ててきたという事でした。

もし、私が断ったり、その仕事ができなければ、イエス様はまた長い間、それができる人が生まれてくるまで待ち続けなければならないのかもしれませんが。

私は、イエス様とアールスター様に、必ずアールスター星に行く事を約束しましたが、本当の事を言うと天の川銀河から遠く離れているアールスター星に行くという事が、どのような事なのか全く理解も想像もできずにいました。

しかし彼らの真摯な願いに応える時が来たようです。

私達はレムリアの6神殿と創造主の神殿を作り上げ、偉大なる創造主の光とも深くつながりました。

また、ギリシアにわたり、イエスや黒い騎士団達と語り続け、創造主の意図やこの宇宙の仕組みについて深く学びましたし、今までよりもさらに大きな力と判断力を身につけている事を感じます。

PART2 アールスター連合とクラシャー連合

私達が、アールスター様達と出会ってしばらくした頃でした。

私は、星の次元上昇をさせるためには、六芒星の神聖幾何学を描く事が必要なので、中創造主がもう一人必要だとお願いした時に、ア

ールスター様のご紹介で、仲間になってくださった中創造主が、魂の純粹性を守るために働いているアリアドーネ様です。

アリアドーネ様はいつもおそばに大きなライオンを従えています。

まるで、「ナルニア国物語」のライオンと少女のようです。

そのライオンは非常に立派な騎士で、ールスター星やクラシャー連合の事について、私達に話をしてくれました。

○レオン・ハルトからのメッセージ

わたしは、レオン・ハルトです。

アリアドーネ様をお守りしていつも一緒に旅をしています。

私達は、イエス様やールスター様と同じくールスター連合に属しています。

ールスター様達と共に、連合のメンバー達のお世話をしてまいりました。

私達の役目は、イエス様とールスター様によって星が高次元に引き上げられる時に、その星の人達が振り落とされる事なく、しっかりと星の次元についていけるように導く事です。

そして次元上昇の妨げとなる、恐れや不安、恐怖などの感情的な問題を解決して、喜びと安心をもって、新しい次元に移り変わるようにする事が私達の役目です。

アリアドーネ様は、その偉大な魂の浄化力により、多くの存在を癒し助けてこられました。私も、最初にお会いした時は、多くの感情的なトラブルを抱えて苦しんでいましたが、私を含め、私の一族は、アリアドーネ様の癒しの力により助けていただきました。

それ以来私達は、アリアドーネ様と共に行動し、彼女の仕事を助ける事となりました。アリアドーネ様達は、M38 銀河の中心に位置する星の出身です。

この星は、以前は M38 銀河とその周辺で活躍していたのですが、アールスター様達と出会い、アールスター連合に参加すると共に、彼らの中心となって活躍してきました。

アリアドーネ様の星はとても美しく、皆さんの言葉でいう花や樹木がたくさんあり、フェアリーや小人のような存在もいます。

ところが、アールスター星と同じように、アリアドーネ様が留守をしている間に、闇の種が入り込み、その種を吸い込んだ人達が、意識の錯乱をおこし争いを始め、さらなる意識の混乱を起こしてしまっただけです。

その為に、星は闇に取り囲まれ、星の安定を失い次元降下を起こしてしまいました。

アリアドーネ様も、イエス様と同じように帰るべき星を失ってしまったのです。

このようにアールスター連合の上位に存在する星の多くが、闇の種によって悲しむべき被害を受けています。

これはアールスター連合と対抗して、多くの星を自分達の支配に置きたいと考えているクラシャー連合と呼ばれるグループによるものです。

アールスター連合は決して戦いを好みませんが、クラシャー連合はパワーと強力な精神誘導を武器に多くの星の女神やマスターを服従させ支配しようとしています。

みずがめ座であった海賊船も、彼らの連合に属している星のものです。

何故彼らが存在するのか、私達には不思議ですが、おそらく彼らの支配を乗り越えるという事は、それだけ大きな愛と勇気そしてチームワークを必要としますので、私達にその事が求められているのだと思います。

私達は、その事を成し遂げる事で、さらに高い次元へと、自らと宇宙を導いていく事ができるのだと思います。

クラシャー連合は、皆さんと同じように、様々な働きをするメンバーを擁しています。それもかなり大がかりな部隊です。

パワフルな騎士団もいれば巨人達もいます。精神誘導を得意とする女神達や時と次元を変化させる事ができる魔法使いもいます。また、星を作り替える事ができるほどの力を持った創造主達も入っています。

そしてあなたと同じように、自由に次元を行き来できるマスターもいます。

彼らは、あなたが光の通路と光のフロアを作っているのと同じように、闇の通路と闇のフロアを作り、そこに大創造主の光りが入り込まないようにしています。

その中に誘い込まれた星々は、光の存在からは見えなくなり、急に消えてしまったかのように見える時があります。

確かに、そこに存在しているのですが、次元が降下してしまったために、光の存在からは見えないし、そこに入る事もできません。アールスター星やアリアドネ星を始め多くの星達が、この方法によってマスターや女神が不在の間に姿を消してしまいました。

アールスター連合の星の多くは、自然が豊かで作物も多くとれ、鉱物資源も豊かです。

そこには多くの叡智ある存在が住んでいるため、惑星の生命力と意識も高く、より多くのエネルギーを保持しています。

クラシャー連合の狙いは、その惑星の生命力を奪い、自らに従わせる事です。

時として、彼らは火山の噴火や地震・津波などを起こして、人々を混乱させたまま、一瞬にして次元降下を起こします。

それは皆さんの地球や多くの星でも起こった事です。

私達は、このクラシャー連合の手に渡ったアールスター連合達の星を取り戻していかなければなりません。

具体的な指示は、アールスター様やイエス様から出ると思われますが、これから多くのアールスターのメンバーや騎士団と合流していく事になります。

皆さんが今まで一緒に働いてきた騎士団も一部天の川銀河の護衛のために、この銀河に残る事になりますが、アールスター様の要請と認可をもってアールスター騎士団となり、共に戦う事となるでしょう。

クラシャー連合についてももう少し話をしますと、セレーネ様が依然話した事があるかと思いますが、彼らも基本的には、偉大なる創造主から生まれていますので、私達は決して彼らを消し去る事はできません。

彼らは、人々に苦痛と不安を与え、それを乗り越えさせる事で意識の進化を果たそうと考えてきた中創造主によって作られたグループです。

最初の目的は、あくまでも、叡智ある存在の意識進化のために試練を与える事でしたが、やがてその星を支配し彼らを隷属させる事

で、自らのパワーを誇示し、多くの創造主達も支配し、偉大なる大創造主に対抗しようとしているのです。

彼らのやり方は非常に巧妙ですので、私達も自らの姿を光のマントで覆い、常に創造主の光を受け続け、自らの心とスピリットを守り続けなければなりません。

創造主は、私達に無限の愛を与えてくれますが、闇の力、クラシャー連合の誘惑から完全に守りきる事は不可能です。

なぜならば、叡智ある存在は自由意志を持ち、その中に感情や愛を持っているからです。

その感情と愛は、私達が豊かに生きていくためには必要なものですが、精神誘導にあうともろくも壊されてしまい利用されてしまうのです。

私達が常に感情やネガティブなエネルギーを浄化し、自らと周りの人達を信頼するように言うのは、そのためです。

星のマスター達は、純粋が故に、相手を無条件に愛そうとしますが、その愛を裏切られた時のショックには耐えられない苦痛を感じます。

そこを彼らに利用されるのです。

その為に、イエスキリスト様は「見返りを求めない無償の愛」、そしてただ愛するだけの「無条件の愛」を繰り返し語られます。

私達が、愛する対象に見返りを求めたり、自分の思いを受け止めてほしい、とか、自分の思いのままに行動してほしい、などと思うと、それは愛でなく「自己欲」や「愛による支配」となります。

そして、その愛は必ず裏切られます。

その時に闇の種が入り、クラシャー連合のメンバーによる精神誘導が行われ、自らの良心を彼らに譲り渡してしまうのです。

この状況が広がると、一つの星に住む多くの存在が、クラシャー連合により操られ、争いや奪い合いが起こり、戦争へとつながっていくのです。

戦争により多くの人々が亡くなるとさらに多くの人々が精神の混乱を起こし、精神を破綻させ、クラシャー連合の意図に従うようになります。

星の意識も、それに呼応し自然災害が増え、星の生命力も暴走してしまいます。

そうになると、星を守るマスターや女神達の手にも負えなくなり、彼らはクリスタルの中に逃げ込むか別次元に入り、時が過ぎ去るのを待つしかないのです。

しかし、その間に星は次元降下して、誰の目にも入らない暗黒の世界へと変わり、そのまま生命力を失って星の命も終わってしまうのです。

皆さん方により、星のマザー・クリスタルが目覚め、星の生命力が戻って、次元上昇できた星は幸いです。

しかし宇宙の中には、重要な星でありながらも、このような事から姿を消してしまった星が数多くあります。

これからその主要な星へと、皆さんをお連れしますので、どうか星々とそこに生きる生命達を救ってあげてください。

PART 3 アールスター星への旅立ち

私達は、ついにアールスター星へと向かう事になりました。

ギリシアから帰ってきた私は、数名のメンバーと共に、アールスター様達と打ちあわせをします。

私達の部隊から、どのメンバー達が、アールスター星に向かうか話をします。

そして部隊を2つにわけ、天の川銀河に残る部隊と外銀河に向かう部隊を構成します。

次の問題は、どうしてアールスター星まで行くのか、という問題です。

アールスター様達は大きな宇宙船を持っていますので、この宇宙船をさらに大きくしたり、騎士団用に他の宇宙船を急いで建造する事にしました。

しかし問題は巨人族のティターン一族が乗れるような巨大宇宙船を作れるかという事です。

この日はすでに準備してあった大型の宇宙船に私達と、外銀河に向かう騎士団の団長が乗り込み事にしました。

アールスター星につくまで宇宙船の中で、重要なメンバーを呼び寄せ作戦会議です。

会議が長引いている間に、宇宙船はアールスター星に到着したようです。

宇宙船のモニターからは、真っ赤に燃える巨大な星が映し出されています。

これは直接降りるのは難しいようですし、すごい大きさの星です。

せっかく来たので、このまま帰るわけにもいきませんので、さっそく仕事に取りかかろうと思いましたが、さて何をどうしたらよいものか・・・考え込み始めました。

私は、アールスター様達に尋ねましたが、何の方法も持たないようです。

私はまず、ギリシア旅行中に教えていただいた「神の通路」をアールスター星に作り、星の状況をエルエル達に調べてきてもらう事にしました。

中創造主達にお願いして、特別な神聖幾何学を描いてもらい、アールスター星をターゲットして、「神の通路」を作り、エルエルに星に降りてもらいました。

確かに、宇宙船のモニターで見るよりも、熱い風が吹きすさび、空気も荒く、私達が降りたつのは不可能なようです。

私は、宇宙の魔法使いに、どうしたらよいか尋ねました。

魔法使いは、まず全員で協力して光を送り、星の大気と波動を安定させる必要がある事を教えてくれました。

私達は、アールスター星のエネルギーモデルを、私達の中心に作り、全員で手をつなぎ光を送りはじめます。

中創造主と光の創造主達に、アールスター星をとり囲むように神聖幾何学を描いてもらい、星全体に創造主の光とユニバーサル・エンジェルの光を送ります。

しばらくすると、アールスター星の大気が落ちつき熱い風が少し和らいでいく感じが感じられます。

その時、アールスター星の地表に傷ついたクリスタルがある事に気づきました。

私は、アールスター様にマザー・クリスタルの数と状況を尋ねます。

3個のマザー・クリスタルが、定位置である山の頂から転げ落ち傷ついています。

私は、この宇宙船から遠隔で、マザー・クリスタルを山の頂に戻し、活性化することを支持し、エネルギーを使って、一つ一つのクリスタルを山の頂に戻していきます。

離れた場所から、クリスタルを移動した事なんて今までありません。

しかし星に降り立てない状況では、その奇跡のような可能性に頼るしかありません。

創造主にお願いして、全身全霊のエネルギーを、一つのクリスタルに集めます。

すると、不思議な事に巨大なクリスタルが動き始め、山の頂まで上がっていき定位置に収まります。

そしてそこに創造主の光を集め、クリスタルにパワーを与えます。

2番目のクリスタル、そして3番目のクリスタルにも全身全霊をもって定位置に戻るよう操作します。

3つのクリスタルが定位置に戻ると、アールスター星の状態も少しずつ良くなっていきますが、クリスタルの活性がまだ不完全です。

その時、私の頭のどこかで、「星に飛び込め！」という声がします。

私は思い切って、神の通路の中に飛び込み、最初のクリスタルのもとに行きました。

体が、ちりちりとしびれてきます。

創造主が私のスピリチュアル体を守っている事を感じますが、それでも体に星の熱いエネルギーを感じます。

これは時間との勝負になりそうです。

アールスター様に、モニターでクリスタルを見てもらいながら、クリスタルを直接活性化していきます。

しばらくして活性化を行い、クリスタルの状況をアールスター様に尋ねます。

一つのクリスタルが活性を終わると、急いで次のクリスタルに移り、活性を行います。

最後のクリスタルに来たとき、ふとクリスタルの名前が浮かんできました。

特殊な働きを持つクリスタルは、それぞれ名前を持っていて、その名前を呼びながら特殊なエネルギーを入れないと最終的な活性は終わりません。

こんな時に何て事だ、と思いつつ、アールスター様に「これらのクリスタルは、特殊な働きを持っていますか」と尋ねました。

彼は、クリスタルには固有の働きがある事を教えてくれました。

私は、3番目のクリスタルの名前を呼び出しました。

名前はナタージア、働きはミスティックな力です。

私は、ナタージアの名前を呼びながら、グレート・ファンタジア様の光を、このクリスタルに呼び込みました。

するとクリスタルは今までにない勢いで輝き始めました。

私は再び2番目のクリスタルに戻りました。2番目のクリスタルは、エルジアで愛の力です。

エルジアの名前を呼びながら愛の創造主の光をクリスタルに導きます。

そして最初のクリスタルに戻りました。

最初のクリスタルは、ドラシアで叡智の力です。

このクリスタルには、ワイズマンの光を導きます。

すると 3 つのクリスタルが共鳴して大きな輝きになりその中に巨大なクリスタルのイメージが浮かんできます。

私は、どこかに巨大なクリスタルがないか、アールスター様に尋ねます。

彼は、3 つのクリスタルが活性化したらその上の次元にクリスタルが現れると答えましたので、私はすぐに一つ上の次元に移動しました。

するとそこにも大きく傷ついたクリスタルがありましたので、急いで活性を行い、クリスタルのパワーを強めます。

このクリスタルの名前は、エストジア、まさに神の光の働きをするクリスタルです。

私は根源である創造主の光をつぎつぎと呼び寄せました。

活性化されたクリスタルはとても力強く輝きます。

私はこのクリスタルのパワーを使って、アールスター星の次元を上げる事にしました。

この巨大クリスタルから大きな鎖を、その下の次元にあるマザー・クリスタルにかけ、ぐっと引っ張り上げていきます。

ティターン一族達が、次元上昇してくる星を受け止めるために、星に降りてきます。

エルエルとエルナエル達も降りてきたようです。

しかし、この星はあまりにも大きすぎて簡単にはいかないようです。

私は、星の下に潜り込み、両手で星を抱え上げ持ち上げます。

まるで天体を支えているアトラスのような気分です。

体がじりじりとする中で、本当に全身全霊の力を使ってアールスター星を持ち上げます。

やがて星が大きく動き始め、一つ上の次元に持ち上げられ、ティターン一族が受け止め、下の次元に再び落ちないように固定したようです。

私達は、そこまで終わるとすぐに、神の通路から宇宙船に戻ります。

今回は、一つ上の次元に、アールスター星を持ち上げる事ができましたが、もとの位置に戻るまでには、あと2つ次元を上げる必要があります。

今回はここまで終わると、私達は宇宙船のって一度地球に戻なければなりません。

それはこの作業を行うために、私達は、地球時間で3時間近くかかってしまったので、「星のツアー」を終了する時間になってしまったからです。

PART 4 偉大なる創造主との出会い

○アールスター星の高次の神殿への入り口 禊の泉

11月30日のアールスター星での次元上昇の様子を創造主がご覧になっていたようです。

それは、私に対して、本気で宇宙のために働くか否かという試験でもあったようです。

創造主の神殿に入ると新しい創造主のファミリーが、私達の事を待っていました。

その方は、アールスター星の上の次元にある光の神殿にいらっしゃる創造主でクレスティア様というお名前でのこの宇宙の生命を見守り育てている方です。

その方がたくさんのお花束を抱えて、私と宇宙の光のメンバーに花束を渡してくれています。

そして、アールスター星を助けるために、私達がアールスター星まで来てくれた事、赤く燃えて生命が入る事もできない状態の星に創造主の光を導き、マザー・クリスタルを修復するばかりか、自ら危険に満ちた星の上に降り立って、マザー・クリスタルを活性化し、星の次元上昇を行った勇気に大きな感謝を示されました。

そして、これからアールスター星に行く為には、クレスティア様と深くつながる事により、地球の高次元とアールスター星の高次元がつながりすぐに移動できる事を教えていただきました。

私はクレスティア様とハートの光でつながり、2人のエネルギーを共有すると、そこに真っ赤なリボンが現れ、私達を結び付けていきます。

するとそのリボンから、白い雪のようなふわふわした帽子をかぶった、まるで雪の女王のような女神が生まれ出てきます。

彼女は、地球とアールスター星がしっかりと結びつき、お互いの愛と友好関係を保つために生まれた存在で、私達をアールスター星へと導いてくれる役目を持つ存在のようです。私は彼女をアランフェスと名付けました。

私が子供のころから好きだったアランフェス協奏曲の名前ですが、この曲もスペインとアランフェス地方の平和を願って作られた曲ですね。

アランフェスは、私達をアールスター星へと続く光のトンネルへと導きます。

トンネルの途中から外を見ると、まだ赤く燃えるようなアールスター星が見られます。私達はこの光のトンネルを出て、美しい泉のもとに出ました。

アールスター星のクレスティア様達の神殿の次元は、かなり高い次元なので、このままでは行けないという事で、天使達による光の浄化とエンパワーメントを受ける事になりました。

日本の言葉でいうと禊（みそぎ）ですね。

天使は、私達の頭に大きな輪のようなものを乗せてくれました。

その輪の中に体を通すようにして、輪から出てくる光とパワーで私達の体を清めていきます。

何度かその事を繰り返すと、輪は自然と消えていきました。

○アールスター星の生命の泉と「慈悲と癒しの創造主グレート・マリア」

私は禊の泉を後にして遠くに見えるアールスターの神殿へと階段のような道を登っていきます。

その途中に大きな美しい泉が目の前に広がっています。

私達が泉の前につくと、泉は大きく割れて滝のようになり、下の世界へと轟々と音を立てて流れていきます。

おそらくこの水がアールスター星の領域にある星々の生命を潤しているのでしょう。

私達はその滝の横を通り、細い道を滝の上流に向かって歩いていきます。

森を抜けていくと黄金の扉のようなものが見え、その中には輝くばかりの宝石や美しい光に満ち溢れています。

大きなマザー・クリスタルもあるようですが、ここがアールスター星を通して流れ落ちる生命の水の源流のようです。

その扉の中には、まるで大天使ミカエルのような騎士団に守られた女神であり創造主が立っています。

その気高き姿に見とれてしまいます。

彼女は、偉大なる創造主の3つの側面のうちの「慈悲と癒し」を担当する光の創造主のようです。

彼女は聖母マリア様の源となる創造主で「グレート・マリア」様です

彼女と深くつながりたいと、私が願うと天使の羽がついたワンドを差し出し、私のソード・アイに充ててくれます。

するとそのワンドは、私のソード・アイにスーツと入っていき消えてしまいました。

このワンドを持つ事によって、より高次のエネルギーで、人々を癒してあげる事ができるようです。

創造主のドレスの中には、いくつもの星や星団、銀河の姿が映ります。

彼女自身がこの偉大なる宇宙意識そのものであるのでしょう。

○グレート・イエスの神殿、根源の創造主との融合

私達はさらなる階段を上っていくと、宇宙空間の中に浮かぶ偉大なる神殿へと入っていききました。

その神殿の中も、宇宙空間のようです。

そこに待っていたのは、偉大なるイエスと呼ばれる存在で、私達が通常見ているイエス様の源となる存在です。

こちらのグレート・イエスは、とてもエネルギーが大きくて、下の次元に存在する時は、自分の一部を創造主イエスとしておろしているようです。

私のギリシア旅行中に、主にメッセージをくださったのはこちらのグレート・イエス様である事がわかりました。

グレート・イエス様は、私達が入っていくとうれしそうに私達を迎えてくれます。

そして自分のハートの輝くばかりの空間に導き入れ、1人1人に素晴らしい光のプレゼントをくださいました。

その時のイエス様は、黄金の服を着て巨大な光になっているように見えます。

イエス様はまさしく「愛」の存在です。

創造主の3側面のうちの「愛」を代表する光の創造主です。

グレート・イエス様からメッセージをいただきました。

「TAKESHIさん達がこの場所まで来れた事を深く喜んでいます。

特に、地球という星で肉体を持って生きていながら、この光の創造主の次元まで来れた者は、そう多くはありません。

すべての生命を生み出す元となった創造主と、最後に創造された地球の人間という生命、創造の最初と最後が、今再び出会い、大きな循環の輪が結合しました。

これはとても偉大な事であり、新しい時代が再び始まる時が来たという事を表しているのです。」

私達はその後、グレート・イエス様の勧めで、イエス様の神殿の上にある空間から、光が落ちてくる場所にむけてどんどん登っていきます。

そこは光のみがあふれている根源の創造主の世界です。

素晴らしい恍惚感、あふれる愛、ただ涙だけが零れ落ちていきます・・・

PART 5 アールスター星の次元上昇

次に私達は、アールスター星へと向かう事にしました。

このグレート・イエスの神殿もすべて、アールスター星の上の次元に存在しています。

それだけこの宇宙にとって、アールスター星は大切な星なので、私達は少しでも早くアールスター星の次元上昇を行っていかねばなりません。

グレート・イエス様と別れを告げ、私達はアールスター星の作戦会議室へと向かいました。

そこには、アールスター様をはじめ、20数名の人達がモニターを見ながら話をしていました。

アールスター星は、前回の働きによって、1つ上の次元に入る事ができたようですが、現在大きな問題が起きているようです。

それはアールスター星にとってとても大切な「神聖な光の玉」のような物が闇の中に捕らわれているという事です。

アールスター星を、無理に次元上昇しようとしたら、その闇のマスターによって玉が壊さ

れるかもしれないし、次元上昇の圧力に耐える事ができず、自ら壊れてしまう可能性もあるので、まずその玉を保護する事を行いたいようです。

その闇のマスターは毒を持つサソリや生物兵器なども持っており安易に近づけないようです。

しかもその玉は、生命を生み出すような玉で、三角形に配置されその場所を移動する事もできません。

私はしばらく考えた後に、クラシャー連合のシバ神を呼び出して、その闇のマスターの事を聞きました。

するとそのマスターは、「神聖な光の玉」の美しさに心を奪われて、その玉を愛し大事にしているうちに、独占したいと思い込み、その心に闇が入ってしまったという事です。

何か「神聖な光の玉」の代わりに彼の心をとらえるような美しいものがあるとよいのだが・・・と、シバ神も少し困り顔で苦笑いをしています。

私はシバ神にお願いして、その闇のマスターが、「神聖な光の玉」に危害を加えないようにしてほしい、とお願いしてシバ神を返しました。

私は、神の通路を、その「神聖な光の玉」と闇のマスターを取り囲むようにおろして、さっそく愛と癒しの創造主「グレート・マリア」を中心として創造主の光を呼び込み、彼の心と魂を癒し始めました。

そしてユニバーサル・エンジェル達の光を送ります。

それと共に、先ほど泉の女神からもらった、コロボックルの特殊部隊を送り込み、彼が持

つ生物兵器やサソリ達が「神聖な光の玉」に危害を加えないように守らせます。

やがて「神聖な光の玉」から闇のエネルギーが少しずつ遠ざかっていきます。

私は頃合いを見て、神の通路に飛び込み、地表に降り立ち、闇のマスターのもとに駆け寄ります。

闇のマスターは、モビールスーツのようなものを着て、その中で放心状態のようにボーつとしています。

私は彼に声をかけ、私の内にある光の遺伝子を彼のハートの中に送り込みます。

光の遺伝子が、彼の中で広がっていくと、彼は我に返り、自分がその「神聖な光の玉」を守る仕事をしていた事を思い出したようです。

アールスター様とイエス様が彼のもとに降り立ち、彼に話しかけています。

やはりもとはアールスター星のメンバーだったようですが、自分の思いに固執するあまり闇に捕らわれたようです。

この生命を生み出すために必要な「神聖な光の玉」は、3個あり後の2つは無事なようですが、この玉をこのままにしておくわけにはいかないのです、アールスター星の聖者達を神の通路を使って、「神聖な光の玉」のところにおろし、この「神聖な光の玉」を安全に保てるように処置を行います。

次は、この3つの「神聖な光の玉」の中央にあるマザー・クリスタルですが、見ると3つの玉の中央近くに大きな赤い塔がたっています。

アールスター様に尋ねると、この星の各次元につながるための塔のようです。

次元が下降した時に傷ついてしまい、本来は3つの玉の中央にあるマザー・クリスタルの上にあるはずの物が位置もずれてしまっているようです。

どうやらこれは立体クリスタルになっていて、この塔が高い次元と繋がる事により、そこからこの星に生命を生み出す仕組みになっているようです。

アールスター様達がこの塔の調整を行っている間に、私はこの星の次元上昇の準備を始めます。

といったところで、今日は、私の騎士団が誰も来ていない事に今気づきました。

今日は特殊なルートで移動したので、騎士団は誰も一緒に来ていないのです。

私は急いで騎士団を呼びました。

最初にエルエルとエルナエルの部隊がすぐに現れ、帝釈天の騎士団、ティターン一族も現れました。

アールスター様達の準備が終わったようですので、私は創造主にお願いして、次元上昇のための神聖幾何学を描いてもらうと共にユニバーサル・エンジェルを呼び出しました。私の騎士団にも手伝ってもらい星の次元をどんどんあげていきます。

そしてティターン一族に星の次元の固定をお願いしました。

アールスター星は、もとの次元に戻っていったようです。

聖者や女神、天使達が戻ってきたように思えます。

赤い塔はさらに星の上空を目指して伸びていっています。

どうやらアールスター星の生命の泉から、グレート・マリアの神殿、そしてグレート・イ

エスの神殿へと繋がっているのかもしれませんが。

この赤い塔の途中あたりの次元から、私達を呼ぶ創造主の姿が見えます。

私達がそこにいくと、地球でもなじみのあるマスターや女神のような存在がたくさんいて、輪になって瞑想しているようです。どうやらこの場所は、マスターや女神を育てる場所のようです。

しばらくしてクレスティア様の神殿に戻ると、彼女の神殿からすぐそばに大きな星が見えています。

どうやらアールスター星が、再び元の次元に戻り成長を遂げた事で、新しい星がその姿を現したようです。

この星は、地球とアールスター星がつながる事によって生まれてきた星だそうです。

PART6 ゴールドのシェンロン

次の星のツアーの時、私達は、再びアランフェスとクレスティアの導きのもと、アールスター星へと入りました。

私達はまず、アールスター星の上の次元にあるクレスティア様の神殿で打ち合わせを行います。

アールスター星は、2回にわたる次元上昇で、だいぶもとの状態に戻ってきましたが、あと一つ次元を上げる必要があるようです。

そのために必要な事は、このアールスター星を闇の次元に落としてしまったマスターを見つけ出す事です。

私達の考えでは、おそらく闇の渦巻きに包まれているのではないかとと思いますが、そのようなものはアールスター星では発見されておらず、マスターの行方が分からないままになっているので、最終的な次元上昇ができないでいるのです。

私は、アールスター様にいて座で闇から救いだした3人のマスター達を貸してもらえないかとお願いしました。

その当時の彼等は黒い羽根を持ち、高速で宇宙空間を移動していましたので、その機動性を生かして、私達の役に立ってもらいたいと申し出たのです。

アールスター様の許可を得て、私達はアリチャー3人組を仲間に入れ、さっそくアールスター星に降り立ち、闇のマスターを探し始めました。

アリチャー3人組をはじめ、エルエル、エルナエル、そしてケンタウルスの一団を投入しても、マスターをなかなか見つける事ができません。

その時、メンバーの一人が、空を飛んでいる石のようなものが見えると言い始めました。どうやらマスターは、地表にいるのではなく人工衛星のように空を飛び続けているために、見つける事ができなかったようです。

私は、ユニバーサル魔法使いを呼んで、時を止めてよいかと聞いたところ、時を止めるよりも、自分が、そのマスターを捕捉しましょうと言ってくれましたので、すぐにアリチャー3人組を魔法使いと共に走らせました。魔法使いは見事にマスターを捕捉し、3人組によって私達の前に連れてこられました。

ところがマスターはすでに意識がなく、意識がない状態で星の上をグルグル回っていたようです。

すぐにアスクレピオスの部下を呼び、彼の心臓に絡みつく闇の根を処理させ治療に当たらせました。

それと同時に女神セレーネ、女神イリス、創造主アリアドネが彼に光を送ります。

私はその間に、この次元にあるマザー・クリスタルを探して活性化に入ります。

するとこのマザー・クリスタルの中から、黄金色のシェンロンが現れます。

まだとても小さな子供のシェンロンですから、たくさんの光が必要です。

私はアールスター様から、この星域を守るゴールドシェンロンの存在を教えてもらい、アールスター様のハートを通して、そのゴールドシェンロンを呼び出すと空高くゴールドシェンロンが現れ、そこから子供のシェンロンに光を送ります。

子供のシェンロンは、目覚めたばかりですが、お父さんシェンロンの光を受けてどんどん大きくなっていきます。

このゴールドシェンロンは、アールスター星の守護者のような存在かもしれません。

シェンロンが大きくなるタイミングを見計らって、私達もアールスター星の次元上昇に入ります。

大きなアールスター星がゆっくりと動き始め、次元上昇していきます。

意識を失っていたマスターも意識が戻ってきたようです。

彼もいっしょに次元上昇を体験させる事で、彼の闇のエネルギーも光に変えていきます。

アールスター星は念願の次元上昇を果たしあるべき位置に戻ったようです。

私達はその様子を見届けて地球へと変える事にしました。

PART7 地球に残されていたアールスターの文明

再びアールスター星に向かうために、創造主の神殿に向かい、いつものようにアデティエ様にメッセージをいただいたとき、アデティエさまが不思議な事を言われました。

「孤独という名の氷がある、深い孤独感、皆さんの愛が必要、愛が孤独を癒す。」

突然の言葉に驚いてしまった私は、それが何を意味するのか分かりませんでした。

その時メンバーの一人が、だれか新しい人が来ている事を伝えてきました。

その人はギリシア風の服の上に黒いローブをはおり、自分の身を隠すようにして立っていました。

その立ち姿から孤独と悲しさが、私達に痛いほど伝わってきます。

「私は、現在のギリシアの地にある古い神殿を長い間守ってきました。

私達の神殿がたてられたのはギリシア時代をはるかに遡る過去の時代です。

それは、皆さんがレムリアやアトランティスと呼んでいた文明よりもまだ古い時代の話です。

私達は皆さんが住む天の川銀河がまだ十分に成熟しておらず、叡智ある存在達もさほど

存在していなかった時代にこの地球にやってきました。

私達がこの地球に神殿を築いた時は、まだ地球は愛と光に満ち溢れていました。

しかしながら、地球の人々が少しずつ墮落していくにつれ地球の波動も人々の意識に伴って低下していきました。

私達は、自分達の波動と少しずつ異なってきた地球の中で、自分達に肉体と神殿を保持する事が大変困難になってきました。」

彼女はそのように言うと大きなため息をつきました。

「そして自分達よりも新しく生まれた文明にも虐げられ、やがて神殿も壊れてしまいました。

私達は、自分達の肉体を捨て去りましたが、故郷にも帰る事が出来ず、行き場をなくして孤独の中で、深い悲しみと共に長い時間を過ごしてきました。

そのような時、TAKESHIさんが、ギリシアに来て祈っている姿とその光を見かけ、彼なら救ってもらえるのではないかと思いついてきたのです。

そして勇気を出して、この創造主の神殿へとまいりました。」

アデティーヤ様にお伺いしてもこの女性の事はご存じありませんでした。

ところが、アールスター様とイエス様はかすかにこの女性の事を知っており、アールスター星に関係がある女性である事がわかりました。

そこでアールスター星のクレステイア様にすぐに来てもらいお伺いすると、彼女は、以前アールスター星の高次元にいた女神である事がわかりました。

そして、地球の古い時代、アデティーヤ様達がこの地球に来る前の時代に、地球の指導を行うために、アールスター星から派遣された神官達の1人だったのです。

つまりレムリア時代の前に、地球にはアールスター星が指導する高度な文明があり、その文明が何らかの理由で崩壊した時、アールスター星に帰る事ができず、この地球に取り残されたまま、自分達の神殿を守り、孤独の中で生きてきたという事です。

私達はその話を聞くと、すぐに彼女の神殿に行く事にしました。

彼女の神殿はすでに海の底に沈んでおり、大きな石に押しつぶされ崩壊していましたが、奥には不思議な輝きを保ち続ける青い石があるようです。

私達は、ティターン一族や騎士団の力により、その石を取り除き、神殿を修復するために創造主の光をその場所に呼び込みます。

輝く光が神殿を取り囲み、美しく照らします。神殿もすこしずつ形を取戻していきます。私は、神殿に降り立ち、青い石を活性化して次元を上げてくと、そこから赤い衣装を着た女神が現れます。

きっとこの神殿のマスターだったのでしょ
うか、青い石の中に姿を隠していたようです。私は先ほどの女性神官や共に付き添っていた聖者達に光を送り、彼女達の心を癒すとともに、彼女にかけられていた封印を解き放ちます。

それは自分体が神殿を失い仲間を失った悲しみや苦しみによるものでした。

この神殿は、かつてアールスター星との光の通路となっていた場所で、レムリアよりも前

の時代に、これらの神殿を中心として、地球人達の統治が行われていたとの事です。

しかし、この文明が最後を迎えた時、天から光が降り注ぎ、意図的な形で崩壊を迎えたようです。

クレスティアにその理由を聞きました。すると彼女は、私達にとって戦慄を覚える言葉を述べました。

「このアールスターが指導していた文明では、地球人が自意識過剰になり、争いや差別、様々なトラブルが引き起こされ、地球の次元が落ちてきたために破壊しました。

その破壊は突然行われたために、アールスター星に帰るべき神官達も、帰る通路を失ってしまって、多くの者達がこの地球に取り残されました。

そして何十万年もの間、その歴史は閉ざされ、その存在も封印されました。」

それが、私がギリシアに行った事により、彼女の目に留まり一縷の望みをかけて私のもとにやってきたのでした。

神殿の次元が上がる事により、ともに封印され閉じ込められた神官達は救い出され、クレスティア様によって、再びアールスター星へと連れて帰られました。

予想さえもする事ができなかった不思議な物語です。

しかし、この地球にレムリアよりも前の時代に、アールスター星と関係が深い文明があった事で、私達はこの地球に、アールスター様やイエス様が関わっている理由がわかりました。

第2章 生命が生まれる星の クリスタル

PART1 生命創造に関わるクリスタル

私達は、アナタリック連合と呼ばれる宇宙の平和を守護するグループと共に、一つの星を尋ねる事にしました。

アナタリック様の話の中では、その星の大切なものを狙ってクラシャー連合が侵略しているとの事でしたので、それぞれに関わる創造主をお呼びして宇宙船の中で会議を行う事となりました。

まず星の状態としては、星の大切なクリスタルを、叡智或る人々が守っており、それはこの宇宙を創造する事や発達させる事に関する情報で、大型のサーバーやコンピューターのようなものに保存されているようです。昨日仲間になったマスターAのグループとも関係が深く、マスターAの仲間の技術者達が、そこを運用しているとの事です。

まずクラシャー連合のシバ神に来てもらい話を聞くと、この星はクラシャー連合ではなく、彼らよりも高度の存在の関わりが考えられるという事でした。

私は、次にエルシーダ様とグレート・オニキス様に来ていただき話しを聞きました。今回は、オニキス様によるテストではなく、界王様の指示でこの星の叡智を貰い受けて新しい星に送る事が目的であり、エルシーダ様はそれらをサポートし星のバランスをとっている事を伝えてくれました。

またマスターAはその叡智を分かち合う事を望んでいるのですが、その星の人達との間でスムーズなやり取りができていない事を伝えてきました。

しかし、何かしらつじつまが合いません。創造主達はとにかく、その星に行って、星の状況を見ながら判断してくれと言います。私に隠している事があるようです。

星につくと、そこは大きなエネルギーによって固く閉ざされている感じがします。

このエネルギーはオニクス様の物である事は間違いないようです。

偵察隊を送って調べると、地表に高い塔がたっているのが見えます。

ただし星の中はとても暗くオニクス様のシールドで光を閉ざし、時を止めているようです。

オニクス様は私達が来るのを待っていたといわれます。

私達は用心のために、星にマカバを作り星のエネルギーを浄化するとともに、魔法使いにお願いして星に光をもたらします。

私達は神の通路をこの塔の近くに作り、星に降り立ちます。

まず、この塔を調べるために、コロボックルの特殊工作隊を送り込みます。

するとこの塔の下に大きなクリスタルがある事がわかりましたが、とても巨大な存在がそれを守っているようです。

私達の言葉でいうと大きなドラゴンや恐竜のようですが、彼らは本来非常に高度な叡智と桁外れのパワーを持っています。

それは彼らが、新しく生まれた星に降り立ち、星の惑星意識を形づくったり、生命が誕生す

るにふさわしい生命環境を作ったりする働きを行うために必要な事なのです。

彼らはおそらくこの星の原住民族がマスターAの仲間である事に間違いありません。彼らは、この星の叡智を守り、星のエネルギーを形成していく情報を保持しているようです。

メンバーの1人が近くに大きな工場のような建物を見つけました。

それは、コンピューターの情報が集積された場所で、このクリスタルとリンクし、クリスタルの中にいる存在の思考や情報が、このコンピューターの中に流れ込み情報が蓄積されているようです。

そして、この情報をもとにしてマスターA達と創造主達が様々な次元での創造を行っているようです。

この星の上にも、アールスター星と同じように創造主とつながる次元があるようで、そこにはマスターA達のリーダーの次元ともつながっているようです。

PART2 宇宙を生み出す母性的な創造主

ここでオニクス様が口を開きました。オニクス様が、この星にシールドを作り、時を止めて守っているのは、クリスタルの中にいる生命に問題が起きており、生命が暴走してしまう可能性があるのを止めているためである事を教えてくれました。このクリスタルの中にいる存在とつながっている高度な存在がいらっしゃって、そこに異常が現れたために、クリスタルの中の存在

にも影響がおよび危険な状態になっているとの事でした。

界王様が、その大元となっている存在こそが生命を生み出す母のような存在である事を教えてくれ、大きな海のような母性的な存在が横たわっている映像を見せてくれました。そして、このクリスタルの中に異物が入り込み、それがシステムの故障を引き起こしているために、それを取り除いてほしいとの事でした。

ただ問題は、近くにいる恐竜達です。

うっかり入って攻撃されないとも限りませんので、以前シリウス B 星でお世話になった恐竜のマスターに来てもらい、彼らに事情を話してもらおう事にしました。

恐竜のマスターが部屋に入り、恐竜達と話をしてくれています。

大丈夫そうなので、私達はクリスタルのもとに近寄りました。

すると、クリスタルの中にガラスの破片のようなものがいくつもあり、それがシステムの運営の邪魔となっているようです。

すぐにコロボックル達が中に入りその異物を取り除き、クリスタルをきれいにしていきます。

私達は、このクリスタルの上に神聖幾何学を描き、光を降ろし星の次元上昇も行いました。

星に光がどんどん満ちあふれ、クリスタルの中にも半透明の人の姿が見えてきます。

また空から、マスターAの部下達が降り立ってきます。

この星に光を満たす事によってクリスタルとその中の生命、そして星のシステムが正常化されていくようです。

このクリスタルの中の異物はどうしてここに入り込んだのですか、という私の質問に対して、界王様がこのようにお答えになりました。

「この星は地球と深く関わっていて、地球の波動が低下する事で、この高波動の星にも影響が起きてしまったのです。

この欠片は地球の人々の集合意識が大きなエネルギーとなってほかの星にも影響を与えている証拠です。

地球の人達は、地球の波動を落とさないように努力してほしいのです。」

またエルシーダ様は、この星は宇宙の星のひな型となる星で、オニクス様と共に守ろうとした事、そして地球の意識低下の影響によって起こった事なので、地球の人々によってこの欠片を取り除いてもらう必要があった事を伝えてきました。

PART3 創造主 中界王様との出会い

私達は、クリスタルと星のシステムが正常に機能し始めた事を確認してから、界王様にこの星の上の次元に連れて行ってくださるようお願いしました。

界王様は、私達ともに、大空高く飛び上がり、どんどん光の世界に入っていきます。

するととてもまぶしい光の中で大きな玉座に座って待っていらっしゃる方がいます。

界王様が、以前私に対して、自分の上にまだ2つの次元があり、それぞれに創造主がいらっしゃる事を教えてくれた事を思い出しました。

この次元は、界王様の一つ上の次元であり、界王様の一つ上の創造主様のようです。厳かな声で語られる威厳のある方で、その光はとても強く、私も頭がクラクラとするほどです。

私達は、中界王様と呼ばせていただき、そのすばらしいエネルギーをしっかりと受け取らせていただきました。

PART1 グレート・マザーへの道

第3章 グレート・マザーへの道

それでは、創造主である中界王からのメッセージをお伝えいたします。

中界王様とは、1月18日に行われた星のツアー「天地創造の星」の高次元にいらっしゃる創造主の一人で、アールスター星の高次元にいらっしゃる「界王様」の上の次元にいらっしゃる方です。

2014年1月19日に受け取ったメッセージです

昨日のみなさんの働きによって、この宇宙の大切な働きが守られた事に私達は深く感謝しています。

あなた方にこの宇宙の真実を一つ一つ明かしていく事は、私達にとっては、大変なリスクを伴う仕事です。

あなた方は、この宇宙にとっては、とても大きな役割を持つ者であり、あなた方によって助けられた存在達は、あなたと共に活動しあなたをサポートするようになっていますので、あなたが彼らの力を私達の意図する方向とは異なる事に使い始めたら、この宇宙はさらなる混乱を招く事になります。

しかしながら、今回の生命創造の星のように、あなたでなければできない仕事もたくさんある事は確かです。

私達は、この宇宙の進化と修正のために、自らのスピリットを地球人として生まれ変わ

らせ、地球人の特質を利用して働く事もあります。

ただし地球では、皆さんが本来持っているスピリットの記憶や能力と人間の意識は遮断されていますので、皆さんはスピリットの能力と記憶には通常アクセスできません。それ故に、皆さんの意識レベルで理解できない不思議な事ばかりが起こるように思えるのです。

しかしながら、創造主のスピリットを持ち、この宇宙の進化と修正のために働いてきたあなたのスピリットにしてみれば、今あなたが行っている活動は、あなたのスピリットが今まで行ってきた通常の任務ですので当然の事でもあります。

あなたは、地球に降り立ち、地球人として何度かの転生を行いました。

そして今世において、自分のスピリットの働きを、あなた自身が認識できるチャンスを得る事ができました。

私達は長い間、この時を待っていたのです。

あなたが地球に降り立ったのは、様々な次元に自由に行き来できる存在として活動する事が目的ですが、それ以上の目的があります。実は創造主の根源となる次元は、この太陽系と深くつながっており、その次元に至る通路は、地球からしか入れません。

生命の創造の星で、クリスタルの中にいる存在を癒す時に、あなた方が見せられた存在、母なる海のような存在は、創造主の生みの親であるグレート・マザーのイメージとして皆さんに与えられました。

真実の姿は光そのものですが、皆さんがその光の特質や働きを深く理解するために、特定の姿形をもってあらわされています。

今回の生命創造の星のクリスタルに、ガラスの破片のような物質が入ったという事は、人類のネガティブな感情やエネルギーが、地球とグレート・マザーの間の通路に入り込んでしまった事を表しています。

本来、グレート・マザーの次元への通路は固く閉じられ、特定の存在しか入る事はできません。

しかし、人間は彼女があえて作り上げた存在ですので、人間の集合意識は彼女と深くつながっています。

本来であれば、人間の集合意識は、たとえどれほど悪化しようとも、グレート・マザーを傷つける事などはないのですが、そこに特別の力が加わり、グレート・マザーと地球の通路をさかのぼって彼女にダメージを与えてしまったのです。

それを行った者や目的、その理由に関しては、これから皆さんに少しずつ開示されていくと思います。

ただこの宇宙の深淵なる事実のすべてを皆さんが知る事は、あまりにも困難です。

それ故に、私達は皆さんに星のツアーを行ってもらい、この宇宙の真理を一つ一つ解き明かしてきました。

そして、神々の光を自由に扱える能力やこの宇宙の様々な種族達の特質を理解して、その種族をまとめ、その能力を最適に使用するためのトレーニングを行っています。

トレーニングといっても、それはあなたがスピリットの時代に、常に行っていた仕事ですから、ただそれを思い出すだけでよいのです。あなたが、この地球に降り立っている間に、この宇宙も少し荒廃してしまいましたので、あなたが人間としての体を持ちながら、あなたのスピリットがなすべき仕事を行っているのです。

レムリアの神殿も以前に比べさらに活性化して、高次元のイエスやマリアの神殿とも深くつながりました。

それ故に、グレート・マリアとグレート・イエスの神殿を、この地球に降ろす事ができたのです。

それは皆さんが、アチューメントの時に、気軽にイエスとマリアの神殿に来れるから、というだけの理由ではありません。

イエスとマリアは、グレート・マザーを守るゲートキーパーのような役目を果たします。これから、行われるこの地球と太陽系の大きな変化に対して、すべての創造主達がサポートを行います。

地球の次元が上がるという事は、地球のためだけでなく、グレート・マザーとの通路も開かれていきますので、彼女の子供達である創造主や大天使達がグレート・マザーのもとに降り立つ事ができるようになります。

もし、その通路が開かれた時には、あなた方はその通路をさかのぼり、マザーのもとに降り立ち、この宇宙の創造主のファミリー、マスターAのグループの力をすべて集め、マザーを癒していく必要があります。

私達創造主は、あなた方がその役目に適任であるか、否かを見守っていました。

そして、私達はマザーを癒すための、資質と能力そして知識をあなたに与える事に決定したのです。

一見理不尽に思えるような事が、星のツアーで起こったとしても、それはあなた方が、グレート・マザーのもとに降り立てる人材であるかどうかを確かめるためでありました。そして、その事を実現できる能力と資質、そして叡智を、あなたに身に着けてもらうための事だったのです。

何度も言いますように、私達はあなたの本来のスピリットをよく知っていますし信頼しております。

この宇宙の中で、イエスやマリアと匹敵するほどの重要な役割を担ってきた存在である事、あなたがグレート・ワンネスの存在である事をお伝えしておきます。

しかし人間としてその力を発揮できるか否かは別問題です。

あなたが、様々な過去や過去世の経験に捕らわれて 人間の特性や感情に振り回されてしまうならば、あなたは創造主としての力を十分に発揮する事ができず、今回の計画は失敗に終わる可能性もあります。

しかしあなたが、自分の持つ力を自由に発揮できるならば、それは何の問題もなく行える事です。

様々な事があなたに起こりましたが、あなたが私達の大切なマザーの元にたどり着きこの計画を実行できるように、私達は導いてきたのです。

PART2 太陽系における秘密について

続いて界王様からのメッセージも頂きました。

前回、あなた方の前に母なる創造主の姿を現し、その創造主と地球との関連をお知らせした事は、大変な意味があります。

それは、この大宇宙の中でも、太陽系はとても重要な役割を果たしているからです。

かつてこの太陽系の上の次元には、私達を生み出したグレート・マザーが存在し、私達は自由に行き来する事ができました。

グレート・マザーは、私達を生み出し、さらに星や生命を生みだします。

その力は、私達創造主やマスターA達にも受け継がれています。

マスターAと天使達は、マザーの力をこの世界で活用し、マザーの意思に従って、この宇宙を創造してきたのです。

先日あなた方が訪問した星は、マザーの力を具体的に「星の世界」に表すためのシステムが稼働している場所です。

皆さんの言葉でいうならば、マザーの脳の働きと直結して、マザーの記憶やマザーの思考を、そこから取り出しているといってもよいと思います。

マザーと私達が自由に交流できていた時は、このような装置も不要でした。

マザーの意思のままに、私達は宇宙の星々や生命をマザーと共に創造できたからです。

マザーはまさにこの宇宙の始まりであり、宇宙を生み出す子宮であります。

私達は、マザーから生まれマザーのもとに帰っていきます。

そのマザーの次元というのが、この太陽系、特に地球と木星の上の次元に存在していました。

私、界王の存在する次元は、アールスター星の上を開いています。

また昨日の生命創造の星の上には、私の上に位置する中界王様の存在する次元が広がっています。

以前は、これらの創造主の次元も一つにつながっていましたが、現在は様々な存在が、その次元を自由に行き来する事ができないように、特定の星からしか上る事ができない仕組みになっています。

ただし一度そこに来る事が許された創造主やマスター達は、それ以降は意図するだけで、そこに入れるようになりますが、昔に比べて、マザーの神殿に入れる人は制限されるようになりました。

しかしある時このマザーに大変な問題が起きてしまいました。

それは純粋な心を持つ創造主の心に闇が訪れた瞬間でした。

あなた方がルシファーと呼んでいる存在の事です。

まずルシファーという存在は、大天使達の中でも、もっとも聡明で美しく力を持った存在の名前であり、天使の創造主の片腕として働いてきた存在です。

ルシファーは明けの明星である金星とも同一視され、この太陽系においても大変重要な存在でした。

彼は、偉大なるマザーに仕え、その光をこの大宇宙に存在するすべてのものにする役割を持っていました。

もっともマザーに近い場所に存在し、マザーによって、深く愛された存在だったのです。

マザーの元にはいくつかの根源種族が生まれています。

○創造主の一族、ここから界王を含め、多くの創造主や女神やマスター達が生まれ、宇宙と生命を成長させるための一族となりました。

○天使の種族、この宇宙を見守り、生命を守る働きをするグループです。

○マスターAの種族、彼等はこの宇宙の万物を具体的に創造します。

また根源種族ではありませんが、マスターAのグループに付随して生まれたのがフェアリーやホビットの種族達です。

彼等は、いくつもの星にとどまり、常に星の中で創造的な活動を行っています

これらの種族は兄弟のようなものです。

お互いが協力して助け合いながら生きていきます。

そこにマザーはもう一つの種族を生み出しました。

それが人間です。

物理的な世界をより豊かに創造するために、地球に3次元の世界を生み出し、地球を新たな創造の場所としたのです。

この人間と呼ばれる根源人種は、その他の星にもいくつか生み出されました。

そしてその人種は、天使達によっても守られ、創造主とマスター達によって育てられる事になったのです。

地球の歴史の中では、ルシファーはアダムとイブが生み出された事に対して、創造主に反

抗したために、地獄に落とされ悪魔となった、という記載があります。

それ故に、ルシファーは悪魔と同一化され、悪いイメージをもたれてしまいました。

しかし、ルシファーは本来、大天使達の長となる存在であり、その資質と能力は他の大天使達と比べても劣るものではありません。

マザーから最初に生れた天使達は、まさにこのルシファー族であったからです。

その一人は、現在あなたがグレート、オニキスと呼んでいる存在です。

天使の種族と創造主の種族が一つになって共に活動する必要があったため、天使と創造主はお互いの資質を交換していったのです。しかし、ルシファーはそのような動きに対して懐疑的でした。

ルシファーは、天使こそがこの宇宙で最高の存在であると考えていましたので、重要なルシファーの1人であるオニキスが、創造主のグループに加わるという事も彼にとって是不本意な事でした。

彼等は偉大なるマザーの守護をするものであり、大天使や守護天使達を通してこの宇宙のすべての存在を守り導く存在である事を誇りに思っていたからです。

しかしある理由のために、グレート・マザーに至る通路が遮断され、私達も自由に行き来する事ができなくなったのです。

長い間、私達はマザーによって与えられた資質をもとにこの大銀河を統治し守ってきました。

そして、マザーにつながるクリスタルによって、マザーが持つ生命創造の叡智とそのエネルギーを保存してきたのです。

しかし先日もお話ししましたように、マザーが生み出した人類とマザーは深くつながっています。

地球にも、マザー・ガイアが存在していますが、それは偉大なるマザーの一つの姿でもあります。

この地球のマザー・ガイアとグレート・マザーは深くつながっていますが、地球のマザー・ガイアが、人類のネガティブな感情や意識によって弱ってきており、そのエネルギーが偉大なるマザーに伝わっているのです。

どうかその事をよく考えて、あなた方の手で、グレート・マザーを助けてください。

PART1 グレート・マザーへの道 イエス様から頂いた鍵

第4章 グレート・マザーの 目覚め

私は、創造主のメッセージを受け取り、界王様やイエス様、マリア様をはじめ、多くの創造主やマスター、女神等、多くの存在を生み出す母親のような存在がいらっしゃる事に気づかされました。

そしてその存在は、ある理由により通常の働きをしておらず眠っているような状態になっており、彼女のもとに行く通路も隠されました。

ただ地球の特殊な場所から上る事ができる一筋の細い通路が残されている事も教えていただきました。

またこの事と、土星に封印されたマスターが深く関わっている事や偉大なるマザーがこの地球の上の次元に存在しているために、この地球というものが特別な星として存在している事も教えていただきました。

「グレート・マザー」と呼ばれる存在を本来の状態に戻す事が、私達に任されたとするならば、おそらくそれは、私達にとって最後の仕事になるかもしれません。

そのために、さらに多くの事を学び、体験し、自らを成長させる必要があったのです。

少し感傷的になりながら、その事を考えていたら、その仕事はいきなりやってきました。マザーに関する情報を界王様からもらった日のアチューメントは、私の古くからの相棒紀美子さんでした。

彼女は、いくつもの扉を持っていてその多くが解き放たれていきましたが、最後に一つだけ残されていましたので、今日のアチューメントの時にその扉が開かれたらいいねと、半分冗談交じりで会話をしながら、アチューメントは始まりました。

マリア様とイエス様の神殿に入りご挨拶を行うと、私はイエス様に、紀美子さんの扉を開くカギをくださいとお願いしました。

グレート・イエス様は、カギをもって神殿の奥にある扉を開けてくれました。

私達は、この突然の展開に少し驚きながらも、その中に入っていました。

その通路はとても狭くて暗い通路です。

グレート・イエス様は寡黙でただ歩いて行きますので、私達もそのあとを歩いていきます。途中で紀美子さんが「足の力が抜けていく」と言い始めました。

すると、私達が歩いている道の横に、大きな暗い穴がぽっかりと開いています。

とても寒々しく、まるで冥界のように私達を引き寄せせる力を感じます。

紀美子さんは、足から体全体がどんどん冷えていくようです。

何かしら、彼女の中で大きな変化が起こっている事は間違いありませんが、グレート・イエス様が前を歩いていく以上は、それを信頼して共に行かなければなりません。

私達は、さらに進むと、暗く閉ざされた世界に出ましたが、とても寒く寂しい感じがする場所です。

ここは、地球のどこなのか、あるいは地球以外の世界に迷いこんできたのか、私にはわかりません。

しかし私は、この世界に創造主の光を呼び込むために、創造主にお願いして神聖幾何学を描いてもらい、この世界に光を送る事にしました。

この世界を厚い黒い雲が覆っているようで、なかなか光が差し込みません。

ただ無心に祈っていると、黒い雲の間から少しずつ光が差し込んできて周りが明るく暖かくなってきました。

暗い世界に春がやってきたような感じで、私達は喜びを感じます。

近くに洞窟のようなものが見えます。

その洞窟に入ると、氷に閉ざされているようでさらに寒く凍えそうです。

しかしイエスが入っていくところを見ると、この洞窟に大切な秘密がありそうです。

もしかしたら、この洞窟の中にマスターが閉じ込められているかもしれないと思い、私はこの洞窟に一生懸命に光を送ります。

すると洞窟の中に、五芒星のような形の妖精達がたくさん降りてきて、氷のような大地が、春の芽生えの時期を迎えるように息吹いていきました。

大地の上に草が生え、大地の中に小川が流れ森のようになっていきます。

私も生命のしずくをこの大地の上に落とすようになっていきます。

それまであれほど寒がっていた紀美子さんの体も少しずつ暖かくなってきて紀美子さんの心もだいぶ落ち着いてきたようです。

やがて、羽を羽ばたかせた天使がここに現れ、3重にも4重にもサークルを作り軽やかに踊り始めました。

PART2 グレート・マザーの神殿

その時サークルの中心から木が生えてきました。

その木はどんどん大きくなり、龍のような形になって上空に向かって上がっていきます。厚い雲を突き破りさらに上まで登っていくようです。

私は、イエスにこの道はどこに続いているのかと尋ねました。

グレート・イエスは平然と「グレート・マザー」と答えます。

私にとっては、おそらく旅の最後に向かうであろうと予想していた事が、メッセージを受け取った 2 時間後に現実になるとは思いもよりませんでした。

私達は「ジャックと豆の木」さながらに、その木の上に登っていきます。

この木は、大地が活性され、創造主の光が集まる事によってどんどん大きくなり、次元の壁をいくつもぶち抜いて、上に上にと上がっていきます。

そしてやがて、天空の城ラピュタのようなものが木の上に現れてきました。

私達はその世界に入ると白いもやの中にお城のようなものが見えます。

道が銀色の神殿に続いています。

私達が神殿の中に入ると、さらに奥にも神殿が続いているようで、そこに「グレート・マザー」がいる気配がします。

神殿の奥の扉を開けると、その奥に祭壇があり、その前に金色の棺のようなものが置かれています。

その棺の中を覗き込むと、黒いマントで包まれたマザーが眠っています。

そして「グレート・マザー」の周りを黒いマントを着た人々が取り囲んでいます。

私は、できうる限り多くの創造主達にこの場所に来てもらうようお願いしました。

そして、多くの創造主が棺の周りを取り囲み、「グレート・マザー」に光を送っています。

「グレート・マザー」のエネルギーが私達に伝わってきます。

この黒いマントをかぶった人は、私達人類やその他の存在の恐れを象徴しているようです。

「グレート・マザー」を目覚めさせるためには、私達が自らの恐れを取り除く努力をして、気づきを得ていかなければならないようです。

私達は、自分の心の奥深くにある「恐れ」に気づいていないために、いつまでもその「恐れ」に支配されています。

それは、変化する事への恐れであったり、死ぬ事への恐れであったりします。

私達はその恐れに気づいて、それを外せば良いのです。

人々は、光を求めていながらも、すべてを明らかにする光を同時に恐れたりもします。

その事に気づかないと、人々は何をやっているか分からなくなり途中で引き返してしまうのです。

私と紀美子さんは、マザーに向かって、私達は恐れを開放し、黒いマントを取りますと宣言しました。

すると、棺の周りで黒いマントをかぶっていた人達は、その黒いマントを外しました。

すると棺の扉が開いて、まぶしいばかりの光が広がり、透明の肉体のような光をまとった女性が現れました。

赤いバラで縁取られた髪をしています。

黒いマントをかぶっていた存在達も解放され光となって消えていきました。

周りに荘厳な光があふれます。

界王様が両手を開いてダイヤモンドのような光を出し始めるとさらに、部屋中の光が輝き、光の柱が上に向かって伸びていきます。天井には五芒星が描かれ、ダイヤモンド・ダストのような光の結晶がキラキラと落ちてきます。

PART3 グレート・マザーの目覚め

グレート・マザーは、光のワンドを手に持ち棺の中から降り立ちました。

彼女は手を差し出して、自分の目覚めを知らせるかのように、キラキラと輝く光をこの宇宙に解き放ちます。

さらにマザーの両手から、星や天使達が美しいシャワーのように広がり、神殿が美しい光に満ち溢れていきます。

マザーの周りの光の密度がどんどん濃くなり、自らの手から出る光で彼女は自分自身を再生していきます。

グレート・マザーは紀美子さんの両手を握って、紀美子さんのハートに光を満たしています。

紀美子さんは光輝き、愛に満たされていきます。

グレート・マザーの手から伸びていく光が、様々な星につながれ光を送っていきます。

彼女は、若々しい金髪のロングヘヤーでロイヤルレッドのドレスと美しい王冠を身に付けています。

そしてその上から、ロイヤルレッドに金色のモールがついたガウンをまといます。

グレート・マザーは自らの再生が終わると、紀美子さんの額に金色の光る物を張り付けてくれました。

また私とハートでつながり、ハートの神殿を活性化する事によって、グレート・マザーのエネルギーと深くつながれる事を教えてくれました。

マザーの言葉が伝わってきます。

「私達と繋がるためにも、常に喜びと愛を選択してください。

恐れや疑いの気持ちがあると、私はまた黒いマントをかぶされてしまいます。

常に光を選択し、恐れや不安を選択しないでください。

あなた方が創造主である事を思い出してください。」

私達は、グレート・マザーの目覚めを身近に見る事で、自分達の恐れの本質に気づかされていく事になるのでしょうか。

私達は、その後、創造主の神殿を通過して地球に戻ってきました。

もしかしたら、「イエスとマリアの神殿」がこの地球のスピリチュアル界にできた本当の理由は、このグレート・マザーの目覚めのためだったかもしれません。

偉大なる光の精霊よ。

私達を偉大なるマザーと光でつなげてください。

マザーの神聖なる愛と叡智を私達に満たしてください。

マザーの創造性を、私達にもたらしてください。

第5章 グレート・マザーか らのメッセージ

グレート・マザーのメッセージ1

宇宙を創生するエネルギーの揺らぎと人の生死について

グレート・マザーのメッセージ2

宇宙の創造の仕組み

グレート・マザーのメッセージ3

グレート・マザーの秘密・宇宙の始まり

グレート・マザーのメッセージ4

グレート・マザーの目覚めの時

○グレート・マザーのメッセージ1

宇宙を創生するエネルギーの揺らぎと人の生死について

グレート・マザーです

私からのメッセージを伝えさせていただきます。

まず基本的な話ですが、この宇宙の成り立ちと次元についての話をさせていただきます。この宇宙は、常に一定のエネルギーを持って動いています。

そのエネルギーは常に揺らぎの中にあり、物質と光の間を、質量を変えながら動いています。

物質とは皆さんが体験しているように「物の形と質量」がある世界です。

エネルギーを、質量（重さ）を持った物質に変換していくのは、この宇宙とそこに存在する皆さんの意識です。

エネルギーが物質的な質量に変わる原動力は「愛」です。

愛は、すべてを結び付け統合します。

エネルギーは結び付けられ、原子が生まれ、結合の力を持ち、次々とより大きなものへと変換されます。

愛による結合力は軽やかで美しくお互いを成長させるものです。

愛による結合を通して、この物質界はさらに美しく叡智あふれるものになっていきます。

愛による結合力は光と共に存在する事ができますし、愛と光によって織りなされる世界が「楽園（パラダイス）」と呼ばれる世界で、人間も天使も神も共に存在できる世界です。

また揺らぎが光の方向に向かうと、物質のつながりは緩くなり、物質の結合力が紐ほどかれ、質量をもたない光と変わっていきます。光は質量と制限を持たないエネルギーですので、すべてのものを自由に創造していきますが、それは物質的な形ではありません。それが、創造主や天使達の高次元の世界を形造ります。

エネルギーの揺らぎは、常に変化しており、物質界のほうに向かうと、エネルギーはさらに高密度になり質量を持ちますので物質的な世界が形成されますが、次元は下がっていきます。

反対に揺らぎが光のほうに向かうと、まるでオーロラのカーテンのように、物質が光へと変換され、質量がなくなりますので次元が上がります。

星の次元上昇を行う時は、皆さんが、創造主の光を星に送る事で、物質的な質量をもった世界の結合がほどけ、少しずつ光の度合いが強くなりますので、星が軽くなり次元上昇していくのです。

また反対に、エネルギーの結合力が「愛」の力から、怒りや憎しみ、苦しみなどのネガティブな感情に変化すると、エネルギーはさらに濃い密度になり、物質的な結合力は強まり質量が重くなりますので次元はさらに降下します。

愛の感情が、行き過ぎると相手を独占したいという束縛の感情や支配欲が生まれます。そしてそこから苦しみや悲しみ、憎しみなどの感情が生まれてきます。これらの感情は、愛よりもはるかに結合力が強いものです。

皆さんの心もそうですね、常に愛の感情を持ち続ける事は困難ですが、憎しみや苦しみ、悲しみの感情を持ち続ける事は簡単です。これらの感情に支配されている人のほうが多いくらいです。

そうなると、人間も地球という物質界も、物質の結合力が強まり、すべてのエネルギーが物質やそれらの感情に置き換わります。すると、そのような人々や世界に光は存在しなくなりますので、その人達が光を求めても届かない事になります。

皆さんはよく光を求めて祈ったり、あるいは天使や神に助けを乞いますが、皆さんの中にある憎しみや苦しみの感情が強ければ、皆さんの心に天使達の光が入ってきても、すぐに

物質的な結合力によって取り込まれ、皆さんを助ける光としては機能しなくなります。

それ故に、皆さんの心から、憎しみや苦しみ、悲しみのエネルギーを浄化し、エネルギーを光に変えて、天使やマスターの光を十分に受け止められるようにしなくてははいけません。そうすると、天使やマスター達の光は、あなたを物質世界の束縛から解放し、あなたの存在している次元が上がってくるのです。

自分の心の中から、苦しみや悲しみ、憎悪の感情を浄化すればするほど、あなた方は光を強く受け止め、自分を癒し成長させていく事ができます。

もちろん大天使や創造主クラスの光になると、皆さんの感情をしっかりと浄化して光に変えていくだけの力がありますから、自分の感情を浄化するというしっかりとした意志を持って、光を受け止めるだけで、あなた方の感情や重たいエネルギーは、素早く光へと変わっていきます。

できる限り、あなたの中のエネルギーの揺らぎを、濃い密度と薄い密度の真ん中くらいに持ってきてください。

そこは、物質と光が自由に混ざり合う楽園であり、人間と天使や神々が自由に行き来できる神殿となるのです。

またこの地球やその他の星に関しても同じ事が言えます。

地球に住む人々が、愛の感情を失い、憎しみや怒り悲しみの感情に支配されると、この地球という物質世界の密度が高まり、とても重たくなってしまいます。

それ故に星は一定の次元を保つ事ができずに次元降下してしまうのです。

星に突然の攻撃が行われたり、地震や津波、火山噴火などの天変地異が起これると、人々は不安と恐れで混乱してしまいます。

そのような時も、物質の結合力は強まり、そこに残っていた光も全て質量のある物質や感情に変換されていきます。

それ故に、星は次元降下してしまいます。

星の次元が降下すると、高い次元を保っていた人達や神殿はそこに残る事ができません。あたかも黒い霧が、この世界を覆い隠すように現れ、人や建物は崩壊していきます。

もしその星がすでにパラレルワールドと呼ばれる別次元を持っていたならば、波動が高い人は次元降下していく星から、別の次元へと移る事ができます。

星も次元降下を行う時は、大量の光やエネルギーを放出しますので、そのエネルギーの一部を使用して、別の次元はさらに次元を上げる事ができます。

この地球でいうならば、シャンバラやエルドラド等がその次元に当たります。

この地球は、長い過去の間にくつもの文明が栄えましたが、その文明も大陸ごと消滅しました。

地球は何度もリセットを繰り返し再生しているのです。

地球の文明が新たに生み出された時、その文明が愛の結合力によって育っていくならば、その文明のみならず地球自身も愛と光のエネルギーによって次元が上昇し、神々の次元に近づきます。

レムリア時代には、多くの神殿があり、神官やヒーラー達が常に祈り続けた事で、高次元の光がこの地球にもたらされ高い次元が保たれました。

しかし、祈りを行う神官達が墮落してしまい、神の光をこの地球に導く事ができなくなるとネガティブな感情に取り込まれてしまい、この星の次元を維持していた光がどんどん少なくなると、質量の高い星となり次元降下していきます。

そして最後は自らの質量に圧迫されて星自体が爆発してしまいます。

星は爆発すると、それまでのエネルギーを一気に吐き出して解放しますので、星の結合力は壊れ、そのエネルギーは、物質から光へと変わります。

これは密度が最大限に高まった揺らぎが一瞬にして、密度がもっとも薄い光へと変わる瞬間です。

その時、物質として保存されていたエネルギーは光として使用されますので、そこに新しい光の世界が生まれてきます。

この光の世界に、私達マザーは、多くの創造主を配置して、そこから新しい世界を作り始めます。

全てのものには始まりと終わりがありますが、そこにあるエネルギーには終わりがありません。

エネルギーの揺らぎによって、形が変わるだけです。

この事を理解すれば、人間が生まれて死んでいく事も何の不思議もありませんし、そこに様々な感情が生またとしても、その事によって自分を見失う事はありません。

人間もエネルギーの密度が濃くなり物質的な結合力が強くなるとこの世界に生れてきます。

生命の誕生の最初の結合力は、精子と卵子の結合で、それはすべての愛を受け取るための結合です。

それは神聖なる結婚と呼ばれていますが、この時に両親の間に十分な愛をもってこの結合を行わなければ、生まれた子供達は最初から愛の欠如を体験する事になります。

そして人は愛によって育てられ成長していくのです。

しかし成長の過程で、愛は様々な感情に置き換わり、物質の結合力が強くなり、自らの存在の中から光を放出し年老いていきます。

やがてその光が放出し終わり、その人のエネルギーがすべて物質的なものになった時、その人の肉体は死を迎えます。

この時も、人間のエネルギーは、肉体からスピリットまで含めて考えると不変です。

人間が誕生する時は、そのスピリットの一部に愛の結合力を持たせ、物質化して、この地球に生まれてくるのです。

その時スピリットと人間の意識の介在をするのが魂でありハイヤーセルフです。

魂は、スピリットが持っていた資質を状況によって少しずつ肉体的な意識に分け与え人間として様々な体験と学びを行います。

その知識や情報は、再び魂を通してスピリットに還元されていきます

人が死を迎えた時は、魂によって物質化の結合が解かれすべてがスピリットに戻っていただくのです。

○グレート・マザーのメッセージ2

宇宙の創造の仕組み

前回は、エネルギーの揺らぎによって、地球のような物質界と人間が生まれる理由についてご説明しました。

今回は、創造主などの神々の世界や天使の世界についてお話ししましょう。

まずエネルギーは、光の世界に向かうとエネルギーの密度は薄くなります。

しかし、密度が薄くなる事によって、そのエネルギーは自由に活動できるようになります。

このように考えてください。

エネルギーの密度が高い時は、皆さんが満員電車に乗っている時です。

狭い車内にたくさんの人（エネルギー）が閉じ込められ、自由に行動する事もできず、目的地に着くまでぎゅうぎゅうの車内でかろうじて立って身を支えている事しかできません。

しかし競技場で野球やテニスなどの競技を行う選手達は、広い空間を自由に走りまわり素晴らしいプレーを行います。

エネルギーにとっては、自分が活動するための広いスペースと時間が必要なのです。

エネルギーの密度が薄くなると、さらに一つのエネルギーが自由に使用できる空間が広がり、エネルギー自体が素晴らしいものに進化していきます。

エネルギーの揺らぎが起こる前の瞬間には広大な空間だけがありました。

それは宇宙と呼ぶ前のただの広大な空間です。

エネルギーの揺らぎが始まると、エネルギーは他のエネルギーと干渉し合いながら大きな光を生み出しました。

空間に散在していたエネルギーが集まり、光となり、私達はそこに愛と叡智と創造性を与えました。

それが創造主の始まりであり、一つの宇宙の始まりです。

最初の光が愛と叡智によって神聖なる結合力をもって集まってくる事で、最初の創造主が、この世界に生み出されていきました。

次に、私、マザーはいくつかの光を集め、そこにも叡智と光を与えました。

その一つは天使の創造主となり、もう一つはマスターA と呼んでいる存在達の創造主となりました。

創造主は、愛と叡智をもってその結合力を高める事で、彼らのもとにいくつもの光（創造主のファミリー）を作り出しました。

しかし最初の創造主から生み出された創造主は、必然的にその結合によって質量が伴ってきますので、自分を生み出した創造主よりも一つ下の次元に存在する事になりました。

またとても巨大となった創造主の光は、やがていくつもの光に分かれていきます。

その役割や目的にあわせて独自の親和力が生まれ、その力に呼応する光やエネルギー達が特殊な結合力を持ち、他の光と異なる光を形成していく事になります。

そのようにして創造主の光は、次々に分化して様々な働きを持つ創造主や神々を作っていたのです。

また天使達の創造主も、宇宙の創造主達と同じプロセスをたどりました。

天使達は、創造主達よりもさらに明確に大天使達の系列が決められており、その役割や目的がはっきりと決められています。

しかしエネルギーの揺らぎは、まだ物質界を生み出すほどには密度は高まっておらず、彼らの世界は、美しい光の世界として表現されます。

あなた方の前に現れる時は、あえて光の物質的な側面を強め、形あるのものとして現れますが、決して物質的な存在ではありません。

次に光の創造主達は、独自の結合を持つ物質界を形成する事になりました。

愛の結合をもとに、エネルギーの揺らぎは、エネルギーを高い密度に凝縮していったのです。

その時、初めて物質の源が生まれました。それは「種」もしくは「結晶」と呼ばれています。

「生命の種」「星の種」「愛の結晶」「叡智の結晶」などです。

これら物は、エネルギーを物質化するための特別な情報がその中に含まれています。

これらの物はマスターA のグループによって生み出されていきました。

意図的に、エネルギーの揺らぎを高密度に持っていき、エネルギーを物質化するためのシステムです。

創造主達は、これらの情報をもとにエネルギーを集め、エネルギーの結合を高めて星や生命を生みだします。

スピリチュアルな世界で、エネルギーを集めて創造するのはさほど難しい事ではありません。

創造者の意図がすべてを生み出します。これはある意味「神聖なる法則」であります。

しかし、物質界に創造物を作るときは、エネルギーの揺らぎを作り、エネルギーの密度を高くして、非物質界の臨界点を超えなければなりません。

その結果、物質界に創造されたものが現れてきますが、創造者の意図する力が弱く、その臨界点を超える事ができなければ、この物質界に願うものを創造する事はできません。

このようなプロセスを通して、現実界に創造が行われる事を、私達は「ミスティック（魔法）」と呼びます。

魔法使いとは、スピリチュアルな世界の物をこの現実世界に表す事ができる者の事です。星や生命の創造をおこなう時は、マスターA達が作り出した「種」と呼ばれる創造の情報と創造主達の力強い意図のパワー、そして魔法使い達のスピリチュアルな物を現実に移し替えていく力が同時に必要となるのです。

それらの力が働き、エネルギーが臨界点を超えた時に、この宇宙の星々や生命が生み出されていきます。

もちろん、グレート・マザーが行う場合には、これらの事をすべて1人でしかも瞬時に行います。

このように、この宇宙は広大な空間から起こった光の結合と分化によって、皆さんがスピリチュアルな世界と呼ぶ比較的エネルギーの密度が薄い光の世界が出来上がりました。

そして、創造主達の意図により、揺らぎは臨界点を超え「星の種」や「生命の種」を物質世界へと生み落していったのです。

物質界の創造は、とても長い時間と多くの作業の工程が必要でした。

そのために創造主は多くの光を自ら分化させ、創造主のファミリーを作り上げ、この創造の働きを行ったのです。

皆さんの銀河や宇宙にも数多くの創造主達がいます。

その頂点となるのは、皆さんが界王様と呼んでいるグループですね。

でも界王よりもさらに上の次元がありますのでぜひ会いに行かれてください。

また創造主達は、創造主をサポートしてこの宇宙を創るのものとして、女神やマスター達（スターピープル）を作り、生まれてくる生命達の育成や管理を行わせました。

この宇宙では、特殊な例として物質界に叡智ある存在も生み出しました。

それがあなた方を含めた人類や星に住む叡智ある存在です。

彼等は、この物質界を美しく素晴らしい世界に育てるために生み出されました。

そして星とそこに住む者達を守り、星の次元を保つために、神々や天使達によって守られているのです。

○グレート・マザーのメッセージ 3

グレート・マザーの秘密・宇宙の始まり

それでは、グレート・マザーの働きについてご説明いたします。

グレート・マザーはこの大宇宙を見守るものです。

私は皆さん方が、存在している大銀河の創造をおこなうために生み出されました。

私を生み出したのは、さらなる高次元のグレート・マザーです。

私は高次元のグレート・マザーの一部でしかありませんが、グレート・マザーの意志と深くつながっており彼女の意志のままに存在しています。

私の働きは、この大銀河のエネルギーに揺らぎを作り、この宇宙の星々や生命を創造するための創造主やシステムを作る事です。

私達の世界には、皆さんの尺度で測れる時間はありませんから、どのくらい長い時間生きているのかと問われても答えられません。ただ言える事は原初の時からという事なのです。

原初という言葉は、とても難しい言葉です。それはこの原初という言葉を使用する人の歴史観にその意味が委ねられるからです。地球の人が原初といったときは、地球が新たにリセットされて始まった時や、古くてもこの天の川銀河が生まれた時の事を指します。しかし私達が、原初というのは、すべての存在の始まりが、存在しようと思図した時であると思います。

この宇宙の始まりの時、この宇宙を生み出そうとする意図がありました。

その意図を持った存在がグレート・マザーの始まりとなった存在であると思います。

マザーは長い時間をかけて成長していきました。

永劫とも思えるような長い眠りから目覚め、自分自身を認識するまでに、さらに永劫とも思える時間がありました。

そしてマザーの意図が光となり輝き始めるまでも、さらに永劫とも思える時間が流れました。

しかしマザーの光は輝き始め、その光の親和力によってひきつけられたエネルギーが、さらにその光を強く輝かせ始めました。

光は、自らの力で回転をはじめ、自らの周りにさらに強いエネルギーを作り、多くの物を引き寄せ、巨大な光の渦となりました。

光の渦はさらに多くのエネルギーを飲み込み、エネルギーがどんどん高密度になり質量が生まれてきました。

マザーの光の渦は、やがて強く大きく凝縮し、一度にはじけました。

これは皆さんが、ビツクバーンと呼んでいる現象と似ているかもしれません。

そしてマザーは大きなエネルギーの揺らぎそのものとなったのです。

波のように広がり、風のようにそよぎ、岩のように固くなりました。

マザーの揺らぎの中で多くの事が起こっていったのです。

マザーに好奇心が生まれ、マザーは自らの揺らぎの中で様々な実験を試みました。

そして、それが叡智となり魔法の元となりました。

マザーはエネルギーを凝縮して、スピリチュアル界に星のひな型や生命のひな型を作りました。

そしてマザーは、共に存在するために、自らの光を分かち、いくつものマザーを作りました。

全てのマザーは、同じ光から生まれましたのでお互いの意志は繋がっています。

ただし光は分化すると元の光よりも質量が高くなり次元が一つ下がる事にも気づきました。

マザーは、この宇宙の中にいくつもの次元を生み出すために、光の分化をさらに行いました。

分化された光からさらに光を分化して、質量をもった光とその次元を作り出しました。

そして、その分化した光の次元において起こったエネルギーの揺らぎの中で、物質世界が生まれてくる事も知ったのです

マザーはさらに多くの事を学びました。

エネルギーの密度が高くなると物質が生まれたり、さらに密度が高くなると限界に達して爆発して光となる事。

生命が、エネルギーの揺らぎの中で、エネルギーがぶつかり合い火花が散るようにして生まれてくる事。

愛などの感情や意識が、エネルギーを凝縮する働きがある事など。

マザーは、やがて一つの宇宙を生み出しました。

その宇宙はスピリチュアルな部分だけでなく、物質界の臨界点を超えて物理的な世界も出現しました。

それが今、皆さんが見ている多くの星や銀河の元となったのです。

マザーは、一つの宇宙の中で、その中に存在する生命を生みだそうと思いました。

まるで演劇の舞台に役者を配置するように、宇宙の星の中に世界を作り物語を生み出したかったのです。

物理的な世界が生まれた時、マザーはそこに時間が生み出される事を知りました。

エネルギーの揺らぎは、物理世界では時間の経過と共に行われていくのです。

マザーは、この物理的な宇宙には、始まりと終わりがある事に気づきました。

時間が流れる世界がとても魅力的な世界に思えたマザーは、時間をスピリチュアルな世界にも持ち込みました。

今までマザーの存在と活動は、永劫の時の中にありましたが、それからは大きな時間のうねりの中で行われるようになりすべてが活性化しました。

時は、大きなエネルギーの揺らぎの中で、生命を創造したり星を創造するための、もう一つの大きな原動力となったのです。

やがてマザーは、このエネルギーを凝縮した後には生れる爆発から、様々な光が放出され、その光が多くを物を生み出すための元となる事を知りました。

マザーはいくつもの光のパーツを組みあわせながら、自分と似た素質を持ちながら、自分と異なる存在を生み出していきました。

それが最初の創造主と天使の創造主になりました。

創造主は、とてもパワフルで叡智に満ち溢れていました。

創造主には、この宇宙を多彩に創造して発展させる役割を与えました。

天使の創造主は、とても美しく聡明で愛に満ちた存在でした。

彼らには、創造主が生み出した物を守り育成する役目を与えました。

そして次に、マザーは、自分が創造した世界がさらに発展するように、創造に関する情報を新しく生まれたマスターAの長老にゆだねました。

そしてマザーは、マスターAの活動を支援するためにフェアリーやホビットの種族を生み出したのです。

私達マザーの子供達は、それぞれの宇宙に分かれ、その宇宙の揺らぎと時を作り出しました。

私達は根源のマザーから生み出された者ですが、マザーと同じ意志と力を持ちます。

マザーの記憶は、私達の記憶でもあり、マザーが持っている叡智や情報は私達も共に使用する事ができます。

偉大なるマザーは、私達と共にありますので、指示や命令という形ではなく共通の意志によって動きます。

私達に起っている事は、すべて瞬時に偉大なるマザーに伝わり、その対応も瞬時に私達の意志となります。

私達が担当している世界は、偉大なマザーの一部です。

私達をいくつかさかのぼっていく事で、皆さんは根源なるグレート・マザーと出会う事ができます。

ただしそれは、皆さんが今の形で出会うのは難しいかもしれません。

根源のマザーの世界は質量がない世界ですから。

○グレート・マザーのメッセージ4

目覚めの時

私が眠りについた理由に関してお話しいたします。

この宇宙をつかさどる存在であるマザーが、なぜ眠りにつくのか。

あるいは皆さんのような存在が、私と関わり、私の眠りを覚ます事が、何故できたのか。

あなたはとても不思議に思われる事でしょう。

それも当然の事ですが、この事はとても古い時代から決められていた事です。

皆さんはマヤ歴についても少しはご理解があると思いますが、この太陽系のみならず、天の川銀河には、大きな周期というものが存在します。

この周期の間、この地球だけでなく多くの星々が、一つの特徴あるエネルギーの支配を受けました。

今迄皆さんが受けていたエネルギーは、「制限」のエネルギーでした。

皆さんがスピリットの自由を失ったり、慣習や物理的制限によって、新しい創造性を発揮する事ができづらいというエネルギーです。

そのために、私達マザーも、そのエネルギーを信じる人達の潜在意識によって影響を受け、新たな創造活動を停止する事となりました。

制限というのは恐れと同じ事です。

恐れを体験しないように、制限をつけ行動を規制し、恐れから自分を守ってきたのです

皆さんにとって最大の恐れは、変化する事です。

別離や変容だけでなく、生死も最大の変化です。

変化や変容を人々は望んでいませんし、変化に対して恐れを抱いています。

もちろん、それは人間だけでなく創造主やマスター、女神も同じです。

ただ異なるのは、創造主やマスター、女神達が恐れているのは、この宇宙の消滅だけです。自分達個人の消滅は、創造主達は何とも思っていないませんが、彼らが存在するこの宇宙の消滅だけは、彼らは避けたいと思っています。

創造主もこの宇宙の中に生み出された存在ゆえに、この宇宙が消滅する事に対しては、恐れを抱いているのです。

しかし、この地球や宇宙が「愛」のエネルギーによって生まれた時、愛に反発する感情である恐れや憎しみや苦しみの感情が生まれる事は宿命ともいえる事だったのでした。

人も、そして特定の神々も、私が行う揺らぎによって、いつか死んでしまう、いつか世界が消滅してしまうという強い恐れを抱くようになりました。

たとえ、この地球も宇宙も、遠い未来に待っている死や消滅が避けられないものだとしても、人びとや神々は、その消滅を恐れ続けたのです。

一部の神々が、そのために現状維持を願い、この宇宙を今のままの状態(次元)にとどめ、消滅の恐怖から逃れようとしたのです。

それも、もとをただせば、この宇宙に存在する星や生命に対する「愛」なのです

私は恐れエネルギーによって、自らを眠りにつかせる事にしました。

皆さんの恐れ象徴である黒いマントと棺のなかで自らの働きを止めたのです。

私はしばらくの間眠りにつき、その期間エネルギーの揺らぎは起こりませんでした。

そうする事により、彼等はこの宇宙の消滅が来ないという安堵観を得る事ができたのです。

このエネルギーの揺らぎが止まり、マザーの力がこの宇宙に届かない事によって、この宇宙は荒廃し多くの星が次元下降をおこし、宇宙の美しさや崇高さは損なわれました。

変化を恐れる気持ちにより、この宇宙がさらに停滞したものに変わっていったのです。

しかし時間が過ぎ、この制限や恐れエネルギーによる支配期間は過ぎ去りました。

あなたが、私達のもとに来て、自分の恐れのマントを脱ぎ捨てた時に、私に対する恐れの呪縛は解き放たれたのです。

私達は再び目覚め、エネルギーの揺らぎが始まります。

それは、この制限や束縛のエネルギーの支配が終わる時、あなた方が選ばれ、私の目覚めを行うように計画されたのです。

そのために、私の事をよく理解する創造主が、あえてこの地球に人間として生まれ変わり、この地球からしか入れない通路を使って、私のもとにたどり着き、私を目覚めさせました。

なぜならばこの通路は、とてもエネルギー密度の高い場所を通る必要があるために、高次元の存在達はその場所を通れません。

彼らがそこを通ると、高次元の薄い密度の中に濃い密度のエネルギーが流れ込み、彼等は消滅してしまうからです。

そのために、あえて地球人としてその濃い密度の中でも平気な体を身に着けて、私のもとに来る必要がありました。

これは決して偶然ではなく、長い時間をかけて計画されたものですから、あなたが不思議に思う必要はまったくありません。

これからは、さらに私と共にこの宇宙を生まれ変わらせるために協力してください。

マザーの仕事はこれから始まります。

その仕事をどうかサポートしてください。

この大いなる大銀河で多くの創造主、女神、マスター、そして天使達が私の目覚めを長い間待っていたのです。

彼等は、もう変化を恐れていません。

たとえ自分達の世界がなくなろうとも、すぐに新しい始まりが起こるという事に喜びを持っているからです。

第6章 グレート・マザー の光をつなぐ

PART1 天使の創造主の泉

グレート・マザーの目覚めは、私達にとって、とても大きな転機となりました。

私は、常にグレート・マザーと共にある事を求められ、グレート・マザーの視点で、これからの世界を見る事を学ばされます。

この日は紀美子さんと2人で、イエス様とマリア様の神殿に行き、これからの事を話した後、偉大なる界王様のもとを訪れました。

先日の星のツアーで界王様の一つ上の次元にいらっしゃる中界王様にお会いしましたので、最終次元にいらっしゃる大界王様にお会いするためです。

私達は、どんどん上に上がり界王様を訪ね、中界王様のもとに行き、さらに上の次元に上がります。

そこは、まさに光の世界です。

大界王様に会うと、ほかの界王様もその光の中に溶け込んでいきます。

3人の界王様が一つに統合されていきます。本当は、初めから一つの存在ですが、私達に分かり易いように、次元を下げ、肉体のイメージを持って現れてくださっていたのです。私達は、大界王様に素晴らしい光をいただきました。

そしてグレート・マザーの意向により、私達は天使の創造主にも会いに行く事になりました。

この宇宙のユニバーサル・エンジェルを生み出している創造主にお会いして、グレート・マザーの事をお話ししようと思ったのです。

天使の世界は、界王様達の創造主グループほど複雑ではありません。

数十名のユニバーサル・エンジェルの元に、各銀河担当の大天使や各星担当の大天使が配置されているのです。

今までは、ユニバーサル・エンジェルの長老とはお話しした事がありますが、天使の創造主とはお会いしていませんでした。

長老に、創造主はどこにいらっしゃいますか、と聞くと、横にあるクリスタルでできた湖（プール）のようなものを指さし、この下にいらっしゃいますと答えました。

その湖にはクリスタルの光が水のように満ちていて、次々と新しい天使の赤ちゃんが生まれています。

天使の創造主は、湖の一番下にいらして、周りを精霊が取り囲み、創造主と新しく生まれてくる赤ちゃん天使の世話をしています。

私が天使の長老に、グレート・マザーが目覚めた事を伝えると、とても驚き、そして喜んでくれました。

天使達は、すべてグレート・マザーの子供達です。

今までお母さんが眠りについていたのでとても寂しかったようです。

私が、グレート・マザーと天使の創造主をつなぎましょうか、と尋ねると、とても喜んでくれました。

その話を聞きつけた天使達が、周りからどんどん集まってきます。

私は、できるだけ多くの天使を集めてくださいとお願いしたら、それこそ空間を埋め尽くすほどの天使達が集まり、すごいパワーになってきました。

紀美子さんは暑い暑いと、何度も言っています。

私は長老と紀美子さんと手をつなぎ、その湖の中央の上空に位置します。

私達を取り囲むように天使達が何重にも円を作ります。

私が、グレート・マザーを呼び出すと、彼女の光の柱が湖の上に作られ、とても美しく大きなエネルギーがまるでオーロラのように降りてきます。

天使達の光が今まで以上に輝き始め、光が一つになっていきます。

そこに、グレート・マザーがスーツと降り立ってきました。

彼女は天使の長老をしっかりと抱きしめ、さらに強い光をこの湖に送っています。

きっと湖の底では、天使の創造主とグレート・マザーが一つに溶け合っている事でしょう。

PART2 研究所さながらのマスターAの世界

私達は、その光景を確認すると、その場にマスターA を呼び出しました。

グレート・マザーによって生み出されたもう一つの根源種族がマスターA なのですが、私はまだ彼らの事をよく知りません。

そこで呼び出したマスターA に、あなた方とグレート・マザーをつなぐ必要がありますか、

とお聞きしたらぜひそうしていただきたいとの答えでしたので、私達はマスターAと共に、彼らの世界に行きました。

ここでは、創造主や神々などというカテゴリーは存在しません。

9人の中心となるマスター達がいて、それぞれが専門の技術の分野を持ち、独自の立場で研究を進めています。

彼らのもとには、それぞれの専門の技術者達がいて、お互い協力はするけれど、深く交わる事なく淡々と仕事をしているようです。

評議会の中心となるメンバーが、全体のとりまとめを行っているようですが、評議会のメンバーの中には大きな上下関係はなく、異なる研究所の所長さん達が集まっているという感じです。

また、彼らの仕事は、かなり多次元に渡っているため、いくつもの次元に異なる研究所があり、光のラインでつながっているようです。

そして彼らの中心には、とても大きなコンピューターのデータベースが存在しています。

これは、前回の星のツアーで見た、クリスタルとリンクしている工場の機械と似ているかもしれません。

ここは特に、グレート・マザーの情報と深くアクセスする場所のようです。

マスターAの評議会のメンバーと共に、グレート・マザーを呼び出して祈ります。

グレート・マザーの光と共に、彼女が現れますが、天使達と違って、マスター達は淡々と仕事をしています。

まるで、彼女の叡智と、自分達のコンピューターをリンクさせる事に集中しているようです。

その作業が終わると、マザーの光はスーと上に戻っていきます。

でも、マスターA達は、満足そうに喜んでいきます。

PART3 地球の中心 クリスタル・ドーム

私達は、次にどこに行きますか、とマザーに尋ねると、地球の中心に行きたいと彼女が答えます。

その答えに、私は少し意外な気もしましたが、私達は、地球の創造主の神殿に戻り、地球の中心に入るために、マザー・ガイアを呼び出しました。

グレート・マザーとマザー・ガイアはとても深い関係にありそうです。

私達は、一緒に地球の中心に向かって深く降りていきます。

地表を抜け、地殻を通り抜け、地球の中心に向かうと、突然大きな広がりのある空間にたどり着きます。

そこは、輝くばかりのクリスタルで満たされている神聖な場所です

ガイア様に、ここはどこですかとお聞きすると、「地球のマザー・クリスタルに光とエネルギーを送っている場所です。」と答えられました。

もしかすると、各星の中心にはこのように巨大なクリスタル達が集まるドームがあり、そこから星のエネルギーが生まれ、星の環境と

パワーを維持し、生命の創造と育成が行われているのかもしれませんが。

ここから生まれてくるエネルギーが変動を起こした時に、星に地殻変動や火山噴火、地震などの気象異常が起こってくるような気がします。

また、私達が各星々で、マザー・クリスタルに光を送り、マザー・クリスタルを活性化する理由は、マザー・クリスタルを通して、このクリスタル・ドームにエネルギーを送り、エネルギーを高める事で、星の次元上昇を行っていた事がわかりました。

グレート・マザーは直接、このクリスタル・ドームに降り立ち、巨大な光を放ち始めます。このドームに光が満ち溢れ、その光が特殊な通路を使って、地球上の各地のマザー・クリスタルに送られていくようです。

おそらく、この地球が大きな自然災害を起こす事なく、順調に次元上昇していくように、マザーが光を送ってくれたのかもしれませんが。

あるいは、マザーを眠りにつかせる原因となった人類の恐れに感情にアクセスして、その恐れを開放するようにしてくれたのかもしれませんが。

私達には、この事によって地球や人類達に何が起こるのか予想もつきません。

ただし、マザーが目覚めた事によって、この地球と宇宙の大きな変容のエネルギーが動き始めた事だけは確かです。

その仕事が終わると、マザーも満足そうにスーっと上の世界に消えていきました。

ただ心配なのは、この地球の未来を左右する各国の政治家達です。

私はこの変容のエネルギーによって、地球が新しい世界に目覚めるために、地球の変化が一気に加速しそうな気がします。

あるいはその目覚めを止めるための動きも活発になるかもしれません。

この地球の流れを見ると、とても大きな浄化や混乱が起こってくる可能性もありますので、私達が祈る事によって、スムーズな移行が行われるように願うだけです。

第7章 創造の世界とグレー

ト・スター様

PART1 グレート・イエスからのメッセージ

○皆さんの目に見えない暗黒の世界は、この宇宙の創造の場所です

このところの星のツアーでは、大変厳しい状況に皆さんを置いている事を許してください。

この天の川銀河一つをとっても、これだけの問題が山積みになっているのです。

マスターや女神達だけでなく創造主自らが、道を誤る者もいますし、また私達が、その星の文明の終焉を作らなくてはならない時もあります。

これらの事も、この宇宙の事を理解するためには、必要な事であります。

また地球自身がそうならないように、皆さんの祈りと行動をしっかりと行っていただきたいためでもあります。

さて私があなたに伝えたい事は、今回あなたに行っていただく暗黒世界についてです。あなた方が暗黒世界に入るという事はとても稀有な事です。

形ある者が、この暗黒世界に入る事は、今まで不可能とされてきましたが、あなたの能力をもって行えば、それは可能となります。あなたにこの暗黒世界を十分に知ってもらう必要がありますし、暗黒世界のマスター達も助けてもらいたいと思っています。

暗黒世界の役割は、いくつかあります。

1つは、形あるものを生み出すための世界がこの暗黒世界です。

スピリットになる前のエネルギー達もすべてここにあります。

この世界では、1つのスピリットの核が生まれると、親和力を持つエネルギー達が集まり、やがて1つのスピリットを形成して、外の世界に出ていきます。

つまりスピリットが誕生するのです。

その様子はまるで、女性の子宮の中で、精子と卵子という2つのエネルギーが親和力をもって結合し、どんどんエネルギーを身にまとって大きく成長し、人間の胎児になる様子とよく似ています。

生まれてくるスピリットは、決して人だけのスピリットではありません。

私達のような、創造主を生み出す場所や、惑星意識と呼ばれるとても大きなスピリットを生み出す場所もあります。

この暗黒世界もいくつかの次元が存在しており、その次元ごとに生み出していくものが異なっているといったほうが良いかもしれません。

以前、月読尊によって、皆さんは魂が生まれる場所に導かれた事と思いますが、その魂とはスピリットであり、その場所も暗黒世界の1部です。

暗黒や闇というのは、形無き物の世界であり、形ある物が生まれてくるための世界なのです。

皆さんにはその中が見えていないというだけで、暗黒もしくは闇と呼ばれ、見えないが

ための恐怖がそこに意味づけられているだけの事です。

そしてこの暗黒世界は、宇宙の環境を作る事も行います。

皆さんが知らない物質、例えば皆さんがダークマターと呼んでいるような星と星の間にある広大な宇宙空間を満たしているような物質もここから生み出されてきます。

このダークマターは、この物理世界に顕現していない物質でもありますし、これらのエネルギーが、星や宇宙を形作る物質に変換される事もあります。

その変換の作用をなすのも暗黒世界の働きです。

○皆さんから浄化されたエネルギーは、暗黒世界へと帰っていき、新たな創造のエネルギーとなります。

ここで問題についてお話ししましょう。

暗黒世界の働きの1つに、エネルギーの浄化というものがあります。

皆さんもよく自分自身を浄化するという言葉を使いますが、それは、皆さんが持っていた古いエネルギーや観念、感情を手放す事を行います。

その手放されたエネルギーは、すべて暗黒世界に向かいます。

実をいうと、皆さん1人1人が持っている闇は、この暗黒世界へと通じる入り口なのです。皆さんは自分の中にある感情や不要なエネルギーを自分の中の闇を通して暗黒世界に放出しているのです。

皆さんの心の中にある闇は、皆さんの不要な感情であふれていますので、闇を感じた時に多くの嫌悪や恐怖を感じます。

そして、暗黒世界にその感情が運ばれず、あなたの元に残ったままですと、そのエネルギーに影響を受けてしまう事もあります。それが自分達の理性や適切な判断を失う時なのです。

TAKESHIさんの仲間であれば、瀬尾律姫のグループが、このような闇を処理して、闇のエネルギーを冥界と呼ばれる暗黒世界に持っていき解消する事を行っていますが、その働きも大変な負担になっています。

つまり多くの人達が、愛を生み出すよりも、憎しみや怒りを生み出す事が増えてきたからです。

皆さんの心が、愛に満ち溢れている時は、皆さんの心の中に闇は存在しませんから、この暗黒世界にも負担をかける事はありません。しかし皆さんの心が憎しみや怒り、不安や悲しみに満たされると、人の心はその感情でいっぱいとなり、その感情を排出するために、心の中に暗黒世界との通路である闇を作り出します。

そして闇を通して、暗黒世界に、皆さんの怒りや悲しみなどの感情を放出していくのです。

暗黒世界は、闇から送られてきた皆さんの感情を受け入れ、暗黒世界の中で循環させ、より良いエネルギーに変えていき、またもとに戻していきます。

まるで空気の浄化機のように、あなたのネガティブな感情だけをフィルターでこしとり、

あなたの純粋なエネルギーはあなたのもとに戻していくのです。

涙を流したり、感情や意識の浄化が終わるとあなたは、新しいエネルギーを受け取り、気持ちがとても楽になります。

今までの重たくネガティブなエネルギーが純粋な美しいエネルギーに変わったからです。

しかし暗黒世界は、現在、膨大なネガティブなエネルギーによって大きな負担を抱えています。

愛のエネルギーを持っている人よりも、怒りや悲しみを持っている人体が各段に増えてしまったからです。

○暗黒世界を支えているのも「愛」

この暗黒世界を支えているのもやはり「愛」です。

この宇宙に存在する「愛」によってこの暗黒世界も機能しています。

愛のエネルギーがなければ、この暗黒世界に送られてくるネガティブな感情を処理できないからです。

皆さんがこの暗黒世界を恐れるのではなく、愛を送ってくださる事によって、この暗黒世界も生き生きとよみがえり仕事ができるようになります。

皆さんが星を再生したり、マスターを助けて下さっている事は、私達にもこの暗黒世界にとっても大変に喜ばしい事です。

なぜなら今まで苦しみや悲しみに満ちていた星の人々やマスター、女神達に光を送り、彼らを愛と喜びの意識に導いているからです。

その事によってこの暗黒世界がうけとるネガティブなエネルギーが大幅に減少し、代わりに愛と喜びのエネルギーが増大するために、暗黒世界の負担が大きく減るのです。

現在、暗黒世界には、図りしれない程のネガティブなエネルギーが集まってきています。地球だけでなく、この宇宙全体から、それらのエネルギーは集まってきますので、暗黒世界が処理できなくなっています。

暗黒世界は、一度に膨大エネルギーが送られてくると、そのエネルギーを処理する事ができません。

すると、カシオペア座のように、暗黒世界からそのエネルギーがそのまま送り返され、自分達のもとにエネルギーがとどまってしまうのです。

すると星全体をネガティブなエネルギーが取り囲む事となるのです。

そのような場合は、その星において、ネガティブなエネルギーを発している存在達に、そのエネルギーを発しないように指導しなければなりません。それはとても困難な事です。

暗黒世界に負担をかけないためには、光をその星に送り込み、ネガティブなエネルギーを暗黒世界に送る事なく処理しなければなりません。

皆さんが何度も何度も、この地球や太陽系に創造主の光を満たしているのは、それらのエネルギーを光に変換していく必要があるからです。

○暗黒世界のネガティブなエネルギーから生まれた存在に善悪の判断能力はありません

また暗黒世界に溜め込まれたネガティブなエネルギーからもたくさんの核が生まれ、ネガティブな存在も生み出されてきています。彼らの元となったエネルギーは恐れや怒り、苦痛などですから、彼等は類似性を持つ存在のもとに集まり活動します。

彼らが生きる目的は、自分達と同じエネルギーである恐れや不安、苦痛を生み出す事です。そのために、自分の欲望によって行動している人々を応援したり、操ったりして、自分達の存在する目的を実現していきます。

彼らには、善悪はなく、ただ生きる目的があるだけです。

そして彼等は、人びとの感情や欲望によって生み出されていますから、彼等は同じ目的を持つ人達と親和力を持ち、その働きを助けて増大させる事が彼らの目的です。

異なる立場の人達から見れば、それはとても困った状況のように思えますが、それは立場の違いから生まれてきます。

しかし、この宇宙の多くの人達の平和や安全を考えれば、それは決して良い事ではありません。

そのようなエネルギーと共にある人達が、他の星を侵略したり、星を破壊する事があってはならないからです。

彼らの行為によって、さらに多くの苦しみや悲しみが生みだされ、暗黒世界は、抱えきれない程の感情やエネルギーを引き受けてしまいます。

もしそのような事が起これば、皆さんもご存じのように、その文明や星を破壊したり凍結したりしなければなりません。

そして気をつけていただきたいのは、彼等是不安や恐れ、憎しみを生み出す事が目的ですから、彼らに対して、そのような感情をもてば、それは彼らの力を増大させる事となります。

反対に愛の感情を持って、彼らに接するならば、彼らのエネルギーは、その中に中和され溶けていきます。

あなた方によって、その事がなされる事を私達は大変期待しております。

○ 暗黒の世界に入り、光のマスターを助け出す仕事

現在多くのエネルギーによってこの暗黒世界も大変な問題を抱えています。

ネガティブな感情やエネルギーを浄化するための光のマスターが弱ってしまい、十分にその働きを実行できなくなってしまったのです。

そのために、宇宙中から集まるネガティブなエネルギーが十分に浄化をされないまま、この宇宙を循環して、人びとや星の意識に大きな影響を与える事が増えています。

そして星の次元が下がるといった事が起きてきました。

私達は、この暗黒世界に入り、光のマスターを助けたいのですが、暗黒世界の次元も下がり、それができませんので、ぜひあなたにその仕事をお願いしたいと思います。

先日会ったグレード・ゴッデスは、この暗黒世界を統治されるお方です。

彼は、暗黒世界の中にいるマスターの事を大変心配しており、あなたの活躍を祈り、大切な光の玉を授けました。

どうかその光の玉を、暗黒世界で、ネガティブなエネルギーをクリアーにするために頑張りを続けて傷ついてしまったマスターに渡してあげてください。

そうする事で、この暗黒世界つまり「形無き世界から形あるものを生みだす世界」は、再び光に満ち溢れ、この宇宙全体が、素晴らしいものとなっていく事でしょう。

この仕事に、この宇宙全体のグレート・ゴッデス達が願いを込めている事をご理解ください。

PART2 創造の世界のマスターとグレート・スター様

私達にとって新しい旅が始まりました。

しかし今回の旅は、私達の思考の在り方を変えるところから始まります。

私達が常に、闇とって恐れ忌み嫌うものが、本来は、この宇宙にとって大切な役目である「創造の世界」と深くつながっている事を知るために、私達自身が闇の世界へ入っていく事になります。

私達を待ち構えているものが一体何なのか、私は、今回の旅で闇であり創造の世界であるものの本質を見極める事となるでしょう。

このシリーズは、星のツアーというグループでの活動でなく、信頼すべきメンバーとの個人ツアーとなります。

そして共に行く騎士団達も、今回の世界を探検するために、仲間になったブラックエンジェルやブラック・エルフ、黒の騎士団と魔法使い、そしてブラック・テトラエルを生みだしたテトリス族や聖なる水の騎士団が中心です。

○創造の世界のマスター

私達はグレート・イエスに導かれて、創造の世界の入口となる多面体の前に立たされました。

創造の世界は、目に見える大宇宙と裏表の様に存在しているので、そこに入るためには、特別な入口が必要です。

その入り口は、周りが星の輝きに照らされ、1か所だけマカバのような多面体の物が空中に浮かんでいます。

多面体の中に入ると光がスパークしてまぶしい通路を通りすぎます。

やがて光が消え、真っ暗な世界をジェットコースターに乗ったように、ぐるぐるとまわりながら落ちていきます。

左右の感覚も上下の感覚もなくなり、次元の壁が大きくゆがんだり、自分のスピリット体もねじられたり引き伸ばされたりする感覚がしばらく続きます。

やがて、明るく照らされた場所につきます。そこには1本の樹木が立っており、その下に賢者らしき人が一人立って私達の事を待っています。

彼は案内人で、私達を老人の様に疲れきった数名の人のもとに連れて行きました。

私は、ホビットにお願いして暖かいスープやビスケット、サプリメントのようなものを彼らに与え元気づけます。

彼らが、私達が捜している創造の世界のマスターなのかわかりませんが、この暗く重々しい世界と彼らに光を送る事にしました。創造主達に神聖幾何学を描いてもらい、グレート・イエスやグレート・マリアなどのグレート・ゴッデスの光をこの世界に呼び込みます。

すると、数名いた老人のような人達が輝き始め、一人のマスターに統合されていきます。しかしどうやら大切な仲間が一人足りないようで完全ではありませんし、まだマスターとして十分に目覚める事ができないようです。

賢者が、私達を森の中のお城に案内してくれました。

どうやらこの近くにいるようです。

騎士団の仲間達にお願いしてこの周りを探してもらおうと、森の中にある穴の中に落ちている人を見つけ出しました。

ブラック・エルフ達が彼を救い出し、先ほどの老人達のもとに連れて行くと、統合しかけたマスター達がさらに輝き、彼もその一部となりました。

どうやら、統合されて大きくなったこの存在が、暗黒世界であり創造の世界のマスターのようです。

私達は、彼にグレート・マザーやグレート・ファザー、グレート・キング、グレート・エンジェル達の光を導き、彼のスピリットを高次の光で輝かせるとともに、ゴッデスから預かった白い光の玉を彼に渡します。

彼は眠りから目覚め、とても大きなパワーを放ち始めます。

彼の中で、自分の能力や使命などの記憶が戻ってきたようです。

○立方体の神聖幾何学に囲まれた小さな子供

私達は、4人のグレート達の光が一つに集まった時、その源に一つの扉が開くのを見ました。

私達はその扉の中に入るために、上空へと登っていきました。

扉は新たな次元へと続いているようです。私達が、その世界に入っていくと不思議な事に立方体の神聖幾何学に囲まれた小さな子供のような存在がいます。

彼は自由に神聖幾何学の中から必要なエネルギーを組みあわせて、新たな世界を作っているようです。

彼はただ無心に新しい世界を作って楽しんでいるようです。

まるで幼児が新しいおもちゃで遊んでいるような光景にも見えます。

子供は、私達を見るととても喜んで、「長い間待っていたよ。」と声をかけてくれました。子供の様に見えますが、計り知れないパワーを持っている様子が私達のハートに伝わってきます。

先ほどのマスターが、この子供がこの暗黒世界を司る偉大な創造主である事を教えてくれました。

彼によって、この創造の世界で星が生みだされ新しい宇宙が作られるのだそうです。

私達は、彼の事を、グレート・スターと呼ぶ事にして、私達のハートとハートの間に光を通わせました。

○創造の世界の大掃除

次に私達がしなければならない事は、この世界にたまっているネガティブなエネルギーをきれいにして、この世界の働きを取り戻す事です。

そのために生み出されたブラック・テトラエルを中心に、ブラック・エルフやブラックエンジェル、そして聖なる水の騎士団達、マー君、ホビット、魔法使い達が手分けをして、この世界にたまったヘドロのようなエネルギーを、美しいさらさらとした純粋なエネルギー達に変えていきます。

この世界のさらなる深い次元にもそのヘドロが入り込んでいるようですので、ブラック・テトラエル達は、通路のようなところを歩いてどんどん深い次元へと入っていきます。

マスターが、この下にも大切な次元があるのだが、今回はそこまで行けないので次回来てほしいと私達に伝えてきましたので、もう一度、この世界に来る事になりそうです。

私達は、仲間達が、ヘドロのようなエネルギーを浄化している間に、この世界にネガティブなエネルギーが流れ込まないようにするためにはどうしたらよいか相談する事にしました。

マスターは、この創造の世界の中に、今までと異なるものを持ち込むと、先ほどの神聖幾何学に囲まれた子供の働きに影響が出るの

で、この世界には新しい事をしたくないよう
です。

それでは、外の世界から、この創造の世界の
中に流れ込んでくるエネルギーの出入口に、
ネガティブなエネルギーを浄化するための
フィルターのような装置を作りましょうと、
私達は提案しました。

すると、マスターは大変喜んでくれて、さっ
そく行動開始です。

この世界と通常の世界の境目のようなところ
に連れてきてもらいました。

そこには、大きな渦巻きがいくつもあり、こ
の渦巻きによって、私達の目に見える創造さ
れた世界から、この暗黒の創造する世界へと
エネルギーが流れ込んでいるようです。

私達は大きな渦巻きの上にスプリンクラー
のようなものを取り付ける事にしました。
渦巻きの中に入ってくるエネルギーをその
スプリンクラーから出る光で、純粋なエネル
ギーに変える事にします。

そして、渦巻きの中に、ネガティブなエネル
ギーを食べるマー君と、ネガティブなエネル
ギーを光のエネルギーに変える事ができる
ブラック・テトラエルを配置する事で、創造
の世界へネガティブなエネルギーが、流れ込
んでくる事が少なくなると思います。

この装置をいくつかの渦巻きの上に付けま
した。

マスターは、この創造の世界を守る事が役目
ですので、これで大喜びです。

今回の仕事はこれで終了です。

第8章 美しく生まれ変わった創造の世界

PART1 創造の世界を動かすソフィア・ドラゴン

私達が、創造の世界のマスターを統合し、きれいに大掃除をした翌々日の星のツアーの時、グレート・スター様が、わざわざ私達の創造主の神殿へとお礼を言うために来てくれました。

アディティーヤ様の腕に抱かれた赤ちゃんのようなグレート・スターの可愛い姿に、メンバー達は大喜び。

しかし、赤ちゃんの様に見えても、このグレート・スター様のパワーは、今までのグレート達のパワーをはるかに上回るもので、私達が星を再生するときなどにぜひ使ってくれとの事でした。

前回から1週間後、私は再び紀美子さんと一緒に創造の世界を尋ねました。

今回は、グレート・スター様と光でつながっているせいか、すぐに創造の世界へと入る事ができました。

その世界は、先週私達が初めて訪れた時とはまるで異なり、美しい楽園のような世界です。湖や水路が増え花も咲き、森のようなものも見えます。

前回目覚めたマスターも自分達の組織を新しく作り直して再出発です。

創造の世界をさらにクリーニングしたり、道や通路を作って、自分達の世界と他の世界をつないでいるようです。

素晴らしい純粋なエネルギーと光が循環して、また星を生み出す仕事が始まるようです。

私達の星のツアーも、この創造の世界をきれいに整える活動と並行して、へびつかい座とへび座、カシオペア座とペルセウス座など、天の川銀河において、星を創造したり成長させるための星座達の再生と次元上昇をおこなっていました。

最初は全く関連のない星座達の様子に思っていたのですが、この創造の世界が目覚める事によって、これらの星座達の役割もはっきりしました。

そして私達が同じ時期に、これらの星座に関わっている事も、すべて創造主達によって仕組みられた活動である事に気づかされました。

私達は、先週マスターから言われた地下の次元に入るために、水の中の通路を通過して深く下っていきます。

そこには、土の上に横たわった大きな灰色の繭（まゆ）があり、その中に想像できない程の大きな存在が眠っています。

どうやらこの世界にとって大切なドラゴンのようなのですが、周りに結界が張ってあり簡単には近づけません。

私はマスターにこの状況を尋ねました。

すると彼は、このドラゴンは、創造の世界だけでなく宇宙全体の大きなエネルギーの循環を起こす役割を持つドラゴンであるのだが、ネガティブなエネルギーがあまりにも増えてきたために、このドラゴンに大変な負担がかかり傷ついてしまったので、これ以上ドラゴンが傷つき命を失わないように、魔法で眠らせ守る事にしたようです。

このドラゴンは、グレート・マザーとも深く関係しており、表の世界はグレート・マザーが中心になってエネルギーの循環をおこし、裏の世界は、このドラゴンがその働きを担っていたようです。

ところが、グレート・マザーが眠りについた事により、表の世界のエネルギーの循環が止まってしまい、エネルギーのバランスが非常に狂ってしまったためにこのドラゴンも眠りについたようです。

しかし、グレート・マザーとドラゴンが眠りにつく事によって、創造する世界も創造された世界も、共にエネルギーの循環が悪くなり様々な問題が生まれてきました。

創造主達はまず、私にグレート・マザーを目覚めさせました。

そして、私がグレート・マザーと共に、表の世界の星々の再生や新人種の創造を行った事により、表の世界のエネルギーの循環が非常によくなり、新たな活動が始まりました。

そのために、裏の世界である創造の世界も新たな活動を始める必要が生まれてきたので、私にこの世界の再生とドラゴンを目覚めさせる役目を与えたようです。

全てがこの宇宙全体の再生のために、計画的に行われている事のようにです。

私達は早速この偉大なるドラゴンを目覚めさせる作業に入りました。

まず宇宙の魔法使いと黒の魔法使いを呼び出し、このドラゴンにかけられた魔法を解いてもらいます。

そして、先日ヘビ座で生まれたグレート達の遺伝子を持つ巨大なドラゴン騎士団とエル

エル達に、結界の場所に立ってもらい、そこからドラゴンへとエネルギーを送ります。

次に、このドラゴンの上に、グレート・ゴッデス達によって神聖幾何学を描いてもらい、グレート・マザーやファザー、グレート・キング、グレート・エンジェル達の光を呼び込みます

そしてそこに重ねるようにグレート・スターの光を呼び込みます。

繭が光始め、中のドラゴンに光が満ちていく事が分かりますが、この繭はなかなか壊れません。

私は思い切って、グレート・ドラゴンを呼び出す事にしました。

きっとグレート・エンジェルがいるのだから、ドラゴン達を全て統括する、グレート・ドラゴンがいるかもしれない、というくらいの思い付きです。

私は、グレート・ドラゴンの名前を呼び祈りました。

すると雷鳴と稲光が起こり、次元の裂け目から巨大なドラゴンが現れました。これには私もびっくりです。

グレート・ドラゴンは、今までにないくらいのパワフルな光で、繭とその中のドラゴンを包みます。

するとドラゴンを包んでいた繭が溶け始め、中から巨大なドラゴンが姿を現しました。これで、このドラゴンが目覚めてくれるかな、と思っていたのですが、ドラゴンは、まだ目を閉じたまま、本来の状態に戻っていないようです。

私が今までに受け取っている最高次元の光は、グレート・ゴッデス達とグレート・スターです。

その光をすべて使ってもこのドラゴンは完全には目覚めてきません。

その時グレート・スターの光の上に一筋の通路が見えます。

以前グレート・イエスから、この世界で私達が認知できる世界はあと2次元在るという事を聞いていました。

その一つがグレート・スター様でしたので、この上に開いた通路はおそらく最終次元へとつながる通路かもしれません。

PART2 すべての光を操るグレート・ユニバース様

私は紀美子さんと一緒にその通路に入って行きました。

するとひげを生やした賢者の方が私達を黄金色に輝くお城へと導いてくれました。

お城の中は、黄金の色の光と幾多もの宝石の光でまばゆいばかりに輝いていましたが、何重にも織られた布が重なったり離れたりするような多次元の世界にみえます。

上もなく下もなく、時間さえもないような不思議な世界です。

必要な光があれば、幾重にも重なった布の中から必要な布を手繰り寄せるように手に取る事ができます。

この世界を統治している存在は、まさに光そのものにしか見えません。

私はこの光をグレート・ユニバース様と呼ぶ事にしました。

彼は威厳のある声で、私達にどのような光が必要か、尋ねました。

私は「創造の世界のドラゴンを目覚めさせる光をくださいと答えました。」

光は、私の手元に純白の光を呼び寄せました。

そして私は、少しためらった後に、「すべての星を浄化し再生する事ができる光をください。」とお願いしました。

グレート・ユニバース様は少し考え「いいだろう、いくつもの世界を立て直してくれたお礼だ。」とあって、一つの光を私の手元に呼び寄せました。

その光は今までに見た事もないような光です。

中心が黄金色に輝きその周りが虹色の光で取り囲まれています。

私達は、グレート・ユニバース様にお礼を言って、ドラゴンのもとに戻りました。

ドラゴンを囲んで光を送っている仲間達が私達の帰りを待っていて、何が起こるのだろうと興味深くみまもっています。

私は、グレート・ユニバースからもらった白い光を、ドラゴンの中に導きます。

そして黄金と虹色の光を創造の世界全体に広げていきます。

するとドラゴンは目を開き、大きく身震いするように目覚めて、結界の外に出てきます。とてもパワフルで聡明な感じがするドラゴンです。

彼の名前を付ける時、かれはソフィアという名前を入れてほしいとあってきましたので、「ユニバーサル・ソフィア・ドラゴン」という名前にしました。

彼は、この宇宙の大きなエネルギーの循環を助け、創造のエネルギーを生み出す事が仕事のようにです。

おそらく表の世界のグレート・ドラゴンの対極をなす裏の世界のドラゴン達のリーダーのような気がします。

星を生み出す役目を持ったへび座やペルセウス座の元にも、巨大なスター・ドラゴンがいましたが、同じ役割を持つ仲間のドラゴンだと思います。

そしてグレート・ユニバース様の黄金と虹色の光を受けた創造の世界もさらに輝き始め、この世界で働く女神やフェアリー達をはじめ多くの存在達が目覚め始めたようです。この世界のつかさどるマスターも大喜びです。

これでこの世界も今まで通りの働きができます。

PART3 裏の世界のマスター達

ソフィア・ドラゴンは、私達に目覚めさせてくれたお礼を言うとともに、やはりグレート・マザーとこのソフィア・ドラゴンはとても深い関係があり、両者が目覚める事でこの宇宙の大きな循環が始まる事を伝えてくれました。

そしてユニバーサル・ソフィア・ドラゴンが、この創造をおこなう世界のさらに奥側に、目覚めさせるべきマスター達がまだいる事を伝えてきました。

ソフィア・ドラゴンが目覚める事により、彼らも目覚めて共に活動を行うようです。

ドラゴンと一緒に来るかい、と聞いてきますので、私達も、彼と一緒についていきました。ドラゴンはその大きな体をくゆらせながら、奥の世界へと入っていきました。

そして、私達にははっきりと見えないような不思議な存在の間をグルグルとまわります。やがてその存在は、黒豹のような形をとり始めます。

おそらく私達にわかりやすい形をとってくれたのだと思います。

彼等は、定められた姿や形がない存在のようで、表には出てこない存在です。

彼らは、一つの世界と一つの世界、一つの循環と一つの循環をつなぎ合わせて存在させているような仕事を担当しているようです。ドラゴンが言うには、彼らの仕事は、煉瓦と煉瓦をつなぐコンクリートの様に、お互いの関係性を保ちながら、お互いがあまり影響を与えないように繋ぎ合わせる仕事をしているとの事です。

あるいはこの宇宙に満ちてすべてをつないでいるブラック・マターの元となるようなエネルギーなのかもしれません。

どちらにしても、そろそろ私達の理解の範疇を超えてきている感じなので、私達は元の世界に戻る事にしました。

これから、グレート・マザー、グレート・ファザー達が作る創造された世界とグレート・スター、ソフィア・ドラゴン達が作る「目に見えない創造する世界」が、幾重にも重なりあって新しい宇宙が生まれてくるようです。

そして、その大切な接合部の一つが私達自身なのです。

第9章 星を生み出す世界の 仕組み

PART1 星を生み出す世界の仕組み グレート・スターのメッセージ

私達が暗黒の世界である「創造がおこなわれる世界」の働きを取り戻すための仕事が終わった後に、グレート・スター様から、感謝の言葉と共に、星が生みだされる仕組みについて詳しく話を聞かせていただきました。そしてさらにオリオン星雲にある星についてその救援を依頼されました。

私達の大切なドラゴン族を目覚めさせてくれてありがとうございます。

私達にとってこのドラゴンはまさにこの宇宙のエネルギーを循環させる大切な仲間達なのです。

グレート・ドラゴンに代表されるドラゴン族は、この宇宙の創生の時から、私達と共に働いてきました。

その巨大なパワーと能力で、星々の生態系のエネルギーの循環を守り、生命達を守護し、そして宇宙における様々な働きを担っています。

宇宙のエレメントである木、火、土、金、水なども、このドラゴン達によって生み出されますし、彼らこそがその守護者です。

今日はあなたにもう一つ仕事をお願いしたくてメッセージを送ります。

オリオン星雲に来てほしいのです。

このオリオン星雲もとても大きな、星の創造のプロセスを持っていますが、ここもエネルギーの循環が悪くなり、星の創造の力が弱くなっています。

ここにも、創造の世界であなたが目覚めさせたドラゴンと同じようなドラゴンが眠っています。

そのドラゴン達を目覚めさせてほしいのです。

オリオン星雲は、この大宇宙にとっても有数の進化した星雲です。

そこには、とても多くの叡智ある星々やこの宇宙にとって、大きな影響力を持つ星と存在達もいます。

彼らの事を助けてあげてください。

シリウスに来ている、オリオン星雲のマスターがあなたの事を導いてくれるでしょう。

私達の星の創造の仕組みについて少しお話しておきましょう。

私達が存在する世界は、皆さん達が活動する「目に見える創造された世界」と「まだ現れていない創造をおこなう世界」の2つにまたがっています。

顕現された世界は、グレート・マザーやグレート・ファザー、そして多くの創造主達やグレート・ゴッデスによって運営されています。

顕現された世界におけるエネルギーの循環は、彼らが「エネルギーの揺らぎ」と呼ぶ力で循環していきます。

この揺らぎの原動力は、多くの存在達の意志であり成長していくパワーです。

愛と叡智に目覚めていくクリエイティブな力によって、このエネルギーはどのような形にも変容して移り変わっていきます。

顕現された世界では、そこに住む者達の意識や感情などが、その動きに大きな影響を及ぼすといってもよいでしょう。

もちろんその世界の奥底にいるのもドラゴン達です。

あなたのもとにいるエルエルやエルナエルと呼ばれるドラゴン達も、この宇宙のエネルギーの循環に深く関わっています。

あなたにはまだ姿を見せていませんが、海へび座やエリダヌス座の深い次元にも、へび座と同じクラスのドラゴンがいますので、彼らも目覚めさせてください。

そして、まだ顕現していない世界は、皆さんにとっては、皆さんのスピリットが生みだされる場所であり、肉体をもって生まれたものが、その肉体を失った時に行くべき場所でもあります。

この場所は、皆さんの世界や星と対をなすように存在しています。

地球には、地球のまだ顕現していない世界というのがあります。

普通の人には見えませんが、皆さんは入っていく事ができます。

そこでは、多くのスピリット達が生みだされています。

そして、この物理世界を去った人達が、新たな生命を迎える準備のために、自らを癒したり浄化したりしてその時を待っています。

ここでは、生前に蓄えた多くの知恵や感情を、その人のスピリットに組み込む作業もします。

そして多くの不要なエネルギー達は取り外され、宇宙の大きなエネルギーの中に流され溶けていきます。

ここで大きな働きをしているのが、観音様達です。

宇宙の大きなエネルギーの循環とエネルギーの浄化のために働いています。

この場所から流されてきたエネルギー達が、創造の世界の周りにあった渦巻きから、創造の世界へと流れ込んできているのです。

あなたも気づいているように、以前はそのエネルギーはすべて美しいものでした。

しかしながら、多くの星で叡智ある存在が生まれ、感情が生みだされるにつれて、彼らは様々な感情を身につけ、その感情によって行動し、時として大きな苦しみや悲しみを伴う結果を作り出した事も事実です。

もちろんそれらの事は、叡智ある存在達がさらに進化し、素晴らしい存在となるために必要な事ではありましたが、行き過ぎた行動は、多くの人達に望ましくない影響を及ぼしてしまいました。

そのような事から感情のエネルギーが次第に増えてきて、宇宙の循環の中にも、感情のエネルギーがたくさん混じってくるようになったのです。

私達のドラゴン達はエネルギーを循環させる過程で、ネガティブなエネルギー達を、光によって純粋なエネルギーに変えようと努力していましたが、その作業は過酷を極めました。

そのために多くのドラゴン達が傷つき、その働きを失ってしまったのです。

創造の世界のソフィア・ドラゴンもそのために働きましたが、これ以上ドラゴンに負担をかけると、このドラゴンの生命に危険が及び可能性がありましたので、私達は一時ドラゴンを封印しその生命を守る事にしました。

その結果、この宇宙には、処理されない感情のエネルギーがたくさん残り、多くの存在達へと影響を及ぼし、さらに多くの感情的なエネルギーが生まだされていったのです。

しかもグレート・マザーがしばらくの間眠りについたために、この顕現された世界においても、エネルギーの循環は悪くなり淀んでしまいました。

そのような淀んだエネルギーからは、星を創造したり再生させる事はできません。

それらの問題に解決のために、創造主の一人であるグレート・ワンネスがあなたのスピリットとしてこの地球に降り立ち、グレート・マザーを目覚めさせるとともに、この宇宙の大掃除を行う事にしたのです。

あなたは、いくつもの星を巡りながら、この宇宙の真理について学び、そして能力を高めてきました。

宇宙のスピリチャルな次元をいくつも駆け上がり、多くの創造主やゴッデス達の力を受け取り、その光を自由に使いながら、この天の川銀河の星々を美しく再生してきました。

そして多くの苦しみに沈む人達を救い、星を新たに再生し、愛と喜びに満ちた人種達も作り上げてきました。

彼らが持つ愛と喜びのエネルギーは、この宇宙にとってはとても大切なエネルギーです。

光に満ちたエネルギーが、暗くよどんだエネルギーと溶け合い、それらを活性化して美しいエネルギーに中和させていくからです。

私達の創造をおこなう世界も、あなたの働きによりとても美しく生まれ変わり、再び星の創造の仕事をおこなえるようになってきました。

しかしこの宇宙には、まだたくさん大切な星が凍結したり、傷ついたりして残っていません。

あなたがこの地球に生存している間に、いくつの星が美しく浄化できるかわかりませんが、この宇宙の大元となる星団や星達を再生させ、その働きを取り戻してください。

よろしくお願いします。

PART2 オリオン星雲のフェアリーの星

私がグレート・スターからメッセージを受け取った1時間後、私達はすぐにオリオン星雲に行く事となりました。

その日の朝に R さんのアチューメントの予定が入っており、そのアチューメントの中で、半ば強制的にオリオン星雲のある星へと導かれていったのです。

アチューメントの時にグレート・イエスが現れ、私達はすでにその星の上にはいました。

私は急いで、仲間の騎士団やマスターを呼び寄せ、シリウス星に惑星意識の子供達の世話をしに来てくれたオリオン星雲のマスターを呼びました。

私はまず星の上に光のマカバを作り、創造主達にお願いして神聖幾何学を星の上に描いてもらいました。

そして偉大なるグレート・ゴッデスの光をこの星に呼び込みます。

さらにこの星をマスターAの5色の光で、エネルギーを浄化し再生の働きを強めていきました。

そしてその作業を行っている間に、この星の問題について、グレート・イエスと話をしました。

この星は、フェアリー、ホビット、ペガサス、ユニコーンなどを生みだして育てる役目を持ち、この星から多くの星に彼らを送り出しています。

この星の問題を解決する事で、彼らを再び、様々な星に送り出す事ができるようになれば、彼らも自由に活動できるようになり、様々な問題が一気に解決していく可能性があるそうです。

私達は、オリオン星雲に関わるグレート・ゴッデスを呼び出しました。

とても力強くパワフルな感じがするゴッデスは、私達に会えた事を喜び、この星の再生に力を貸してほしい事を伝えてきました。

彼が言うには、この星に予期せぬ者が降りてきて、この星の人々が精神的な支配を受け、混乱や崩壊が起こったようです。

星の中心となるドラゴン達も、毒針のようなものを打たれ、半ば気が狂ったようになり、いくつもの体に分裂していったとの事。

私は、予期せぬ者という言葉が気にかかり、シバ神を呼び出し、この星への関与を尋ねました。

予想通りこの予期せぬ者達はシバ神でした。シバ神はこの星の人達が傲慢になり、道を踏み外して来たために、フェアリー達の世界も含め、他の星や世界に影響が及ぶ事をおそれて、この星の叡智ある人達に対して攻撃を加えた事を告白しました。

オリオン星雲のゴッデスは、この星に残っている叡智ある存在は、今閉じ込められて動けなくなっているのです。ぜひ更生させてこの星の働きをもとに戻してもらいたいと願っているようです。

また彼らの事を監視するための叡智ある騎士団もぜひ作ってほしいとの事です。

私は、この話を聞いて、星の再生を行うために、シバ神にこの星にもたらした支配と混乱のエネルギーを抜き取るようお願いしました。

そして、オリオン星雲を統括するグレート・ゴッデスをはじめ多くのゴッデス達に、この星に残るすべての存在達が、光と愛に満ちあふれるように光を送ってくれるようお願いしました。

特に、グレート・キングには、この星の叡智ある存在達に光を送って心を正していくように、グレート・エンジェルには、この星のフェアリーやペガサスを守護し癒してくれるようお願いしました。

そして、グレート・ドラゴンとドラゴン騎士団には、傷ついたドラゴン達に光を与え本来の意識とパワーを取り戻すようお願いしました。

グレート・スターとグレート・ユニバースにも、この星を癒し、以前の純粋な光の状態に戻してくれるようお願いしました。

この祈りが終わる頃には、ドラゴン達から、
どんどんネガティブなエネルギーが解放され、
彼らがとても優しい表情で飛び回っている
様子が見られます。

彼らは自分達の本当の姿を取戻し、大好きな
仕事ができる事をとてもよろこんでいるよ
うです。

さらにグレート・スターとグレート・ユニバ
ースに、この星を再生させるための光とこの
星につながる創造の世界へと光を送っても
らいました。

彼らの光が、この世界の隅々まで広がって
いき、輝きに満ちていきます。

私達はこの星の地表に降り立ち、オリオン星
雲のグレート・ゴッデスにこの星の人達が閉
じ込められている山の洞窟へと案内してもら
いました。

その中には数名の人達が椅子に座った状態
で閉じ込められていました。

私達は扉をあけ放ち彼らを助け出します。

そして、私は再びこの星が生まれ変わるた
めに、私達がここに来て、閉じ込められて
いた皆さんを自由にする事を伝えました。

私は彼らに言いました。

「皆さんをこの場所から救い出すためには
一つ条件があります。

私が皆さんに差し上げる「愛の結晶」と「叡
智の結晶」を自らのハートの中に入れ、自
らのハートを愛と叡智に目覚めさせてくだ
さい。

そうしなければ、皆さんは、再び同じ過ち
を起こしてしまう可能性があります。」

数名の人達が、私から愛と叡智の結晶を受け
取り、うれしそうに洞窟から出てきます。

この星のリーダーは私にお礼を言いました。
「皆さん本当にありがとうございます。
私達は、自分達が行ったことの愚かさを反省
しています。
光がまぶしすぎてそこから逃げたかったの
です。
しかし本当の愛とはこのようなものである
という事を、私達は改めて知りました。」

私達は次にクリスタル・ドームの再生を行う
ために、星の内部に入ります。
クリスタル・ドームの内部では、女神が元気
なさそうに座っています。
私達はいつものようにクリスタル・ドームの
活性を行うとともに、この星の次元上昇を行
います。

グレート・マザーとグレート・スターのまぶ
しいばかりの光をマザー・クリスタルのリリ
ィーに送ります。
この星のクリスタルはフェアリーやホビッ
トを生み出す世界に通じる特別なクリスタ
ルのようです。

私達は思い切って、マザー・クリスタルの中
に飛び込み、地下の奥深くにある世界へと入
っていきました。
そこには一人のマスターがいて、この世界を
守っているようでしたが、靄（もや）がかか
って薄暗い感じがします。
私はいつものように、グレート・ゴッデス達
の光を呼び込むと、次第に靄がはれてくっき
りと世界が見えるようになりました。

世界は黄金色に輝き、この世界を守っていた
存在もどんどんパワフルになっていきます。
彼はその変容ぶりに大変驚いています。

何しろ一人で、この世界を守る事で精一杯だったので、霧（もや）がかかっている以上は出来なかったようです。

グレート・ゴッデスの光により、霧がはれて美しく輝き始めた世界を見て、本当はこんなに美しい世界があった事を喜んでいきます。

グレート・スターとグレート・ユニバースによって、この世界の機能が高まり、ペガサスやユニコーン、フェアリー、ホビット達が、どこからともなく生まれてきます。

フェアリー達が光の中から生まれてきます。まさに神々しい世界が戻ってきました。

私達はこれで帰る事にしましたが、帰り際にフェアリーやペガサス達を10名ずつ一緒に連れていく事にしました。

彼らがいる事により、この世界との通路が開き、ほかの星にもフェアリー達が導けると考えたからです。

私達はこの世界の住人達を連れて、この世界から出てきました。

地表では、オリオン星雲のゴッデスと星の人々が待っています。

クリスタル・ドームと星の地表も、フェアリー達を生み出す世界が大きく活性化するために輝きに満ち、フェアリー達が花の周りを舞い踊っています。

私は最後にこの星に新人種を生み出す事にしました。

大天使ミカエル、女神イリス、オリオン星雲のゴッデス、そしてこの星のリーダーの力も借り、この星のフェアリーやホビット、ペガサス達のお世話ができる新人種を作り上げました。

そして騎士団としては、虹のドラゴン騎士団を数名この星に生み出し、この星の働きをしっかりと見届けてもらう事にしました。

PART3 宇宙の根源の光

○グレート・エンジェルのさらに上の次元へと向う

私達は再度オリオン星雲に行く前にさらなる高みへと登るために、グレート・エンジェルを訪ねました。

グレート・エンジェルは、天の川銀河のみならず、各銀河に存在する大天使達を統合するユニバーサル・エンジェル達が一つに集まった存在です。

グレート・エンジェルは、銀河に生きる生命達を守護する大天使達や大宇宙を見守るユニバーサル・エンジェルを生みだし見守る偉大なエンジェルです。

以前お会いした時、私にたいして、これからは大天使やユニバーサル・エンジェルの名前を1人ずつ呼んで呼び出すのではなく、グレート・エンジェルの名前を呼んでください。そうする事で、その状況に必要なエンジェル達を私が呼び出します、とおっしゃってくださいました。

グレート・エンジェルはすべての天使の意志と深くつながっていますので、瞬時に必要なエンジェル達をそこに集め、最適な仕事をさせる事ができるようです。

私は、グレート・エンジェルと出会う事により、他のエンジェル達ともさらに深いつながりを得る事ができるようになりました。

そして、再度グレート・エンジェルを訪ね、グレート・エンジェルのさらなる上の次元はどのようになっているのか、教えてもらう事にしました。

私達は、グレート・エンジェルに誘われて、さらに高い世界に意識を上げていきます。

すると、光輝く世界の奥に黄金色に輝く玉が見えてきます。

この玉はとても不思議な玉で、何か乗り物の様にも通路の様にも見えます。

私達は、この玉の中に入る事をためらいましたが、勇気をもって黄金の玉と一つになるために、玉の中へ入りました。

その玉は、私達をさらに高い次元の世界へと導きました。

ただ光だけの世界ですが、その中に偉大なるマスターの存在を感じます。

私の心の中に、マスターの声が響いてきます

「私は、すべての世界をつなぐものです。
私は、すべての世界の元となるものです。
私は、ドラゴンの世界を生み出した者であり、見えざる世界を生み出した者であり、創造された世界を生み出した者であり、天使の世界を生み出した者でもあります
全てが、私の中の一部であり、すべてがこの黄金色の光でつながっています。

私の元から、光と存在のエネルギーが生れ、それぞれの世界を形作ります。

全てが、私の光の中に存在しますので、一つのものが生れ、移り変わり、姿を変えていっても、それはすべて同じエネルギーの異なる姿です。

あなた方が、その事を理解し、私の意識と各世界に存する者達の意識を深くつなぐ事に

よって、この宇宙は、さらに完成されたものとなっていくます。

あなたは、あなたが行う事を楽しんで行ってください。

あなたによって、新しい世界、新しい宇宙が開かれていきます。

私達もそれを楽しみ、新しい可能性を創造していく事ができます。」

この根源のマスターの光を受け取り、しばらくの間、瞑想していきます。

私達の活動も、さらに新たな展開を繰り広げていくようです。

PART4 オリオン星雲のフェアリー・ドラゴン

私達は、根源の世界から、再びオリオン星雲のフェアリーの星へと旅立ちます。

先日は、オリオン星雲にある1つの星のマザー・クリスタルから、フェアリーを生みだす世界へ入り、その世界のマスターとともに、その世界を光で満たしてきました。

今回は、さらにその上にある世界に行き、フェアリー達を生みだしている存在達と会う事が目的です。

私達は、直接マスターのもとに行きました。先日よりも、明るくはなっていますが輝きが足りません。

私達は、マスターに教えられて、上の世界へと入って行きました。

そこに待っていたのは、女神とドラゴンですが、あまり元気そうではありませんし、ドラゴンは眠っているようにも見えます。

私達は、このフェアリーの女神とドラゴン達に光をもたらします。

ドラゴン騎士団やエルエル達を神聖幾何学の位置に配置し、グレート・ゴッデス達の光を呼び込みます。

そして、ユニバーサル・ソフィア・ドラゴンとりゅう座のレインボウ・ソフィア・ドラゴン、地球のグランド・ドラゴン、さらにグレート・ドラゴンの4大ドラゴンを呼び寄せ、フェアリー・ドラゴンを囲みます。

フェアリー・ドラゴンは、同じドラゴン族のエネルギーが集まってきた事に、喜びをもって目覚めてきます。

そして、さらに最高次元のドラゴン「ギャラクティック・ドラゴン」をここに呼び寄せます。

彼の光が、ドラゴン達を大きく囲むように、力強い光の柱として降り立つと、ソフィア・ドラゴンは大きく輝き、大きく美しいフェアリー・ドラゴンへと変わっていきます。

フェアリー・ドラゴンの体も、緑色から黄色、そして美しいパール色へと変化し、女神と統合されていきます。

フェアリー・ドラゴンのエネルギーもどんどん純粋な物に変わり、体も透明感が出てきます。

もともと、女神とドラゴンは一つの存在だったようですが、ドラゴンが眠りについた事で分離されたようです。

フェアリー・ドラゴンが目覚める事で、彼女達は統合され、必要に応じてどちらの姿にでもなれるようですし、本来持っていた多くの能力を自由に使えるようになったようです。

私達はさらに、ここに根源の光を導きます。根源の光を導く黄金の光の玉が、たくさん降りてきます。

そして、5頭のドラゴン達が、ギャラクティック・ドラゴンのもとに一つに統合され輝き始めます。

新たな、ギャラクティック・ドラゴンが、生まれたようです。

PART5 オリオン星雲のグレート・ゴッデス、根源の光を5つの世界につなぐ

私達が、オリオン星雲のフェアリー・ドラゴンを目覚めさせた後の星のツアーで創造主の神殿に行ったとき、今までに見た事もない巨大なマスターが私達を待っていました。

彼の本体はおそらくドラゴンのようにも見えましたが、オリオン星雲のゴッデスの1部であるという事です。

私達が、オリオン星雲に行ってフェアリー・ドラゴンを目覚めさせる仕事を見て、大変喜んでくれていました。

そして「根源の光」とつながった事により、私達が行う仕事は、さらに高次なものとなり、大きな広がりとなるようです。

オリオンのゴッデスは、その卓越した能力とパワーで私の仕事のサポートを行うために、来てくれたようです。

そして、私がつながった「根源の光」を、各世界につなげていくのが私達の役目でもあります。

私は、創造主の神殿の仲間達とともに祈り始めました。

いつもは、地球・太陽系・天の川銀河にグレート・ゴッデス達の光を呼び込んで終わるのですが、今日はさらに根源の光をこの天の川銀河に呼び込みます。

そしてさらにその光をこの大宇宙にまで広げていきます。

この大宇宙は、グレート・ゴッデス達が統治する目に見える世界、創造された世界です。その世界を司る多くのゴッデス達に根源の光を送ります。

次に、グレート・ユニバース様やグレート・スター様とそのゴッデス達が統治する「目に見えない世界」、宇宙を創造する世界へと光を広げていきます。

さらには、見える世界と見えない世界、創造する世界と創造される世界をつなぐマスターAの世界にも光をつなげます。

そしてドラゴンの世界にも光を繋げます。宇宙の創造の源となるエネルギーであるドラゴン達に光を送ります。

ギャラクティック・ドラゴンやソフィア・ドラゴン、グレート・ドラゴン達がうれしそうに飛び回っています。

先日目覚めたフェアリー・ドラゴンとその女神達を通して、フェアリーやホビットの世界にも光は広がります。

エンジェルの世界にも光を送ります。グレート・エンジェルがその光を全身で受けると、グレート・エンジェルと一つになっている多くのユニバーサル・エンジェルや各銀河の大天使達、そして各星々の大天使達に光がどんどん流れて、エンジェル達が輝いていきます。

私は、各世界に根源の光をつないだ後、5つの世界に順番に入り、横のつながりを作っていきます。

やがて、根源の光を中心として、ドーナツの様に大きな光の輪が5つの世界をつなぎ、お互いに溶け合っていきます。

根源の世界と各世界のマスター達をつなぐ金色の光が、周りにあられ輝きが一層強くなります。

全てが祝福され、すべてが一つにつながっていきます。

ワン・ワールド、この大宇宙のすべての世界が、やがて一つに溶け合い、根源とつながっていった時に、どれほど素晴らしい世界が現れてくるのでしょうか。

私は、その時まで祈り続ける事でしょう。

宇宙で活躍する神々や創造主 の段階

宇宙で活躍する神々や創造主の段階

青字は天使

地球	マザーガイア、 天照大御神などの世界で活躍する神々（スターピープル） サナートクマラ、サナンダなどのマスター 人間を守る守護天使
太陽系	アメンラー、ゼウス、ポセイドンなどの創造神 大天使
天の川銀河の 小創造主	天の川銀河の各星座を担当する小創造主 ペテルギウス、北極星、南十字星、レグルス星、スピカ星等 天の川銀河の大天使
天の川銀河を統治する 中創造主	アディテヤ 仏陀 アリターリア
局部銀河を統治する中 創造主	イエス アールスター アリアドネ 宇宙の魔法使い エルシーダ シバ オニクス ユニバーサル・エンジェル
	グレートイエス グレートマリア
物理世界を創造する創造主	ブラフマン 界王 グレート・スター
ユニバース	グレート・ユニバース

(単一宇宙)の創造主	グレート・キング グレートマザー グレートエンジェル
特殊な創造主	ゴールドルシファー 宇宙の大地のマスター ホーリーエンジェル
マルチバースの創造主	セントラル・サン&ムーン ゴッデス・オリジン ゴッデス・ユニティ
愛の源の世界	愛の源の世界のマザー エンソフ アメンラー ウイング
高次の物理世界の創造主	セントラルレース セントラルイエス&マリア クリスタルレース デバインマスター
	永遠なる愛の女神 黄金の女神 宇宙の意志 ダイヤモンドの女神
12 神殿に関わる創造主	鳳凰族の創造主 ソフィア族の創造主
	無の創造主 祝福の創造主 太陽種族の創造主
物理世界の系列を表す創造主	輝きの創造主 光と闇の統合の創造主 至高なる愛の創造主 永遠なる時の創造主

★物理世界を持つ宇宙

○第1レベル 天の川銀河の中の創造主

階層としては一番下の階層の創造主です。主に星々や星座の働きを保ち、星に存在する生命達を生みだします。

彼等は星座の創造主とも呼ばれています。その上には、天の川銀河全体の管理と創造を行う創造主もいます。

○第2レベル 局部銀河の創造主

私達にとって観測可能な宇宙（ユニバース）の中でも、天の川銀河やアンドロメダ銀河を含む局部銀河が一つの宇宙の単位となっています。

この局部銀河を治める最高の創造主は、私達が「界王」呼んでいる創造主で彼のもとに多くの創造主が役割を分担して存在しています。

私は、局部銀河の運営にたずさわる創造主を「グレートゴッデス」と呼んでいます。

特にグレート・イエスやグレート・マリアは地球の事をとても大切にしてくれています。

○第3レベル 観測可能なユニバースを統治する創造主

物理的な世界を持つ宇宙（ユニバース）を直接統治する創造主達です。

主に第4レベルの創造主に対応する創造主達がいて、第4レベルの創造主の指示のもとに単一宇宙であるユニバースを運営しています。

○第4レベル 多次元宇宙を統治する創造主

観測可能な宇宙だけでなくパラレルワールドも含む多次元宇宙を統治する創造主達の世界です。

そのリーダーは、エンソフと呼ばれる創造主です。彼のもとに、星々を創造する創造主、人々の運命を司る創造主、宇宙の安定を保つ

創造主、ドラゴンや精霊を生み育てる創造主、4大エレメントを駆使して宇宙を創造する源のエネルギーを作る創造主、叡智ある存在が適正に育っているか調べる創造主などが存在して、多次元宇宙の創造と運営を行っています。

★スピリチュアルな宇宙

○第5レベル 物理的な宇宙を創造し運営する創造主

このレベルの創造主からは、たくさんの階層と役目を持った創造主が存在します。

物理的な宇宙を創造し運営する役目を持ち、私達の物理世界にも関わられる創造主達です。第1評議会の中心的な創造主達になります。リーダーは、「源の創造主」「光彩の創造主」で宇宙のスーパーコンピュータを管理する創造主なども含まれます。

○第6レベル 物理的な宇宙を管理しスピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第2評議会、第3評議会の創造主達で、上位の評議会の創造主の指示のもとにスピリチュアルなレベルでも宇宙を創造していきます。

彼等は、上位の評議会の決定を自分達の評議会でも議論し、どのような方法で宇宙の創造と運営を実行するか決めて行動します。

○第7レベル スピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第4評議会の創造主で、物理的な宇宙の元となるスピリチュアルな宇宙を作ります。この宇宙の原型を基に、第3評議会と第2評議会の創造主やスターピープル達がスピリチュアルな宇宙の細かい創造を行います。

彼等は、マルチな能力を持つ創造主で1人1人が独立して、自由に宇宙の創造を行う権利が与えられています。

○第8レベル 創造された宇宙の管理を行う創造主

第5評議会以上の創造主達は、宇宙の創造は行いませんが、彼等よりも下の評議会の創造主が作った宇宙が適切に運営されているかどうかの検査を行っています。

非常に高い能力を持っている事はもちろんですが、どの次元にも自由に入る事ができ、多くの宇宙を見守っている創造主です。

○第9レベル いくつもの宇宙を管理する創造主

第9評議会以上の創造主達は、私達の宇宙以外にもいくつもの宇宙に関わり創造や管理を行うようになります。